ちいさな女の子とらぶらぶエッチする方法

つくすん

いずみコミックス HALF




すみません
夕ご飯まで
ご馳走に
なってしまって
カチャ
カチャ…
まともな
料理なんて
久しぶりです
ジャー…
いいのよ
いろいろ
大変でしょ
どうです
うちの子
パク
パク…!
すごく
まじめに
やってますよ
パク
パク
ビチャビチャ…
え？
うちの娘
不登校なんだけど
いつ学校に行ける
ようになります？
あっ
そうそう
ガリッ!!
!?
ゴオッ…
いやぁ～…
僕はそういった
専門家では
ないので…
なんとも…
あら
そうなの？
??
!?
カタ…カタ…
ゲッ…
Wtf!?
精神状態ギリギリの教え子にめちゃめちゃオカズにされて困ってます

学費の足しにと
始めた
家庭教師

楽な仕事と
言われて始めた
このバイト
なんだけど

ガチャ

コンバンワー

ニヘラ…

せ…せんせ

こんばんわ…

一人だけ
少し様子のおかしい
生徒がいる

ギギ…

いつも可愛らしい
服で迎えてくれる
この子の名前は
すずめちゃん

…

そうそう
そこに
掛けて

少しだけ
人見知りの
ごく普通の子

出来たら
言ってねー

だと
思ったのに…

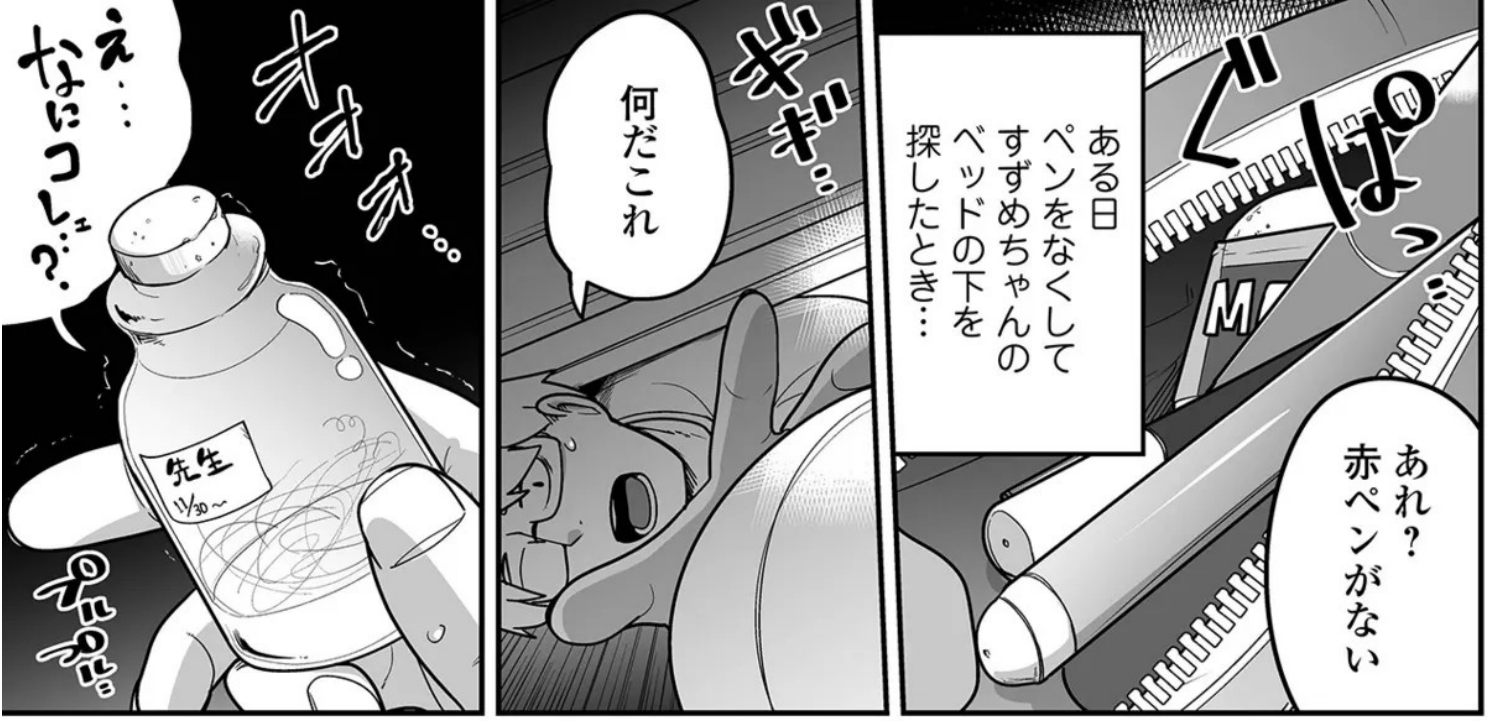
カリカリ…

ハイッ

カリカリ

?

チラ…


あれ？
赤ペンがない
ある日
ペンをなくして
すずめちゃんの
ベッドの下を
探したとき…
ぱっ
ギギ…
何だこれ
オオオ…
え…
なにコレ…？
先生
11/30～
ぷにぷに

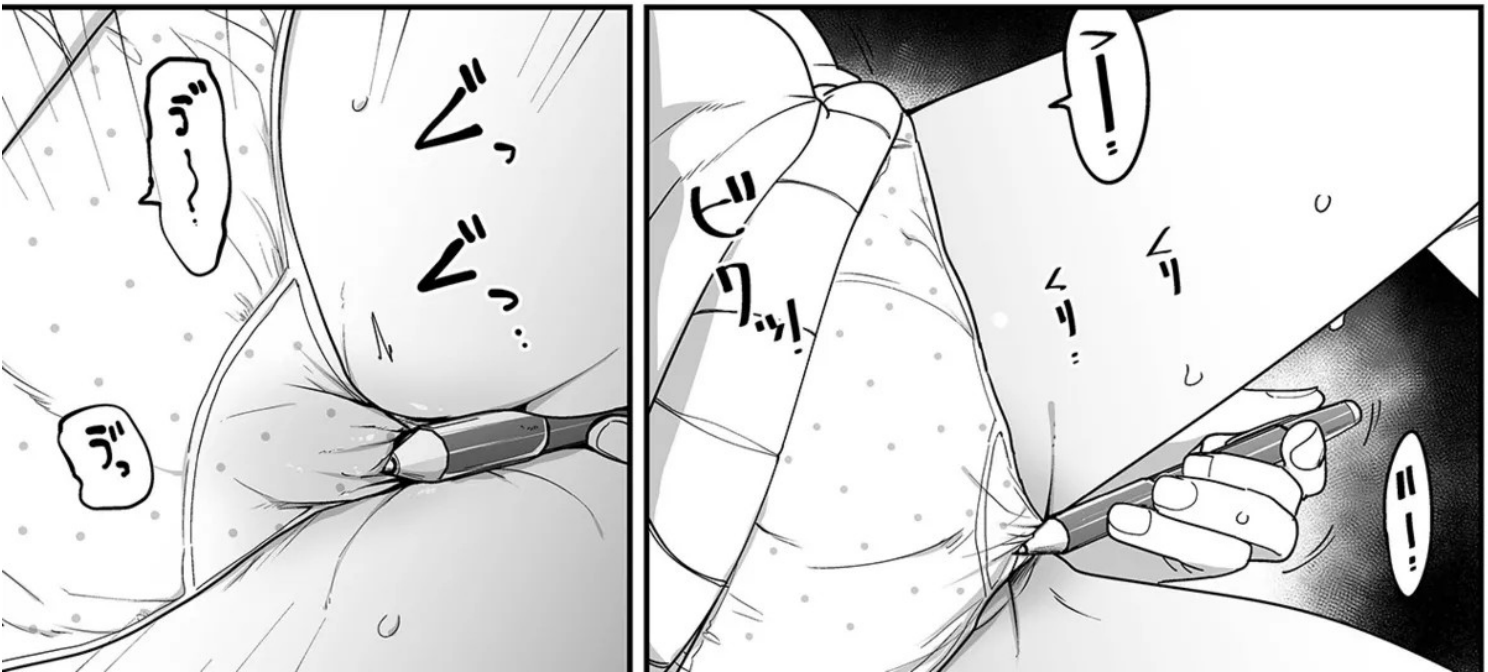

瓶の中には
髪の毛と
思しきものが
入っていた
長さ的に
恐らくは
僕の……
先生…


それからも
僕の私物は
なくなり続けた
あれ？
ちょっと
待ってね
マフラー
置き忘れたかも
ゴソ
ゴソ
へへ♡
雨の日に
洗濯してもらった
靴下も結局
返ってこなかった
こりゃ
乾かないわね
スミマセン…
すずめちゃんの
お母さんが
やるわけない
だろうし
これって…
いやまさか…

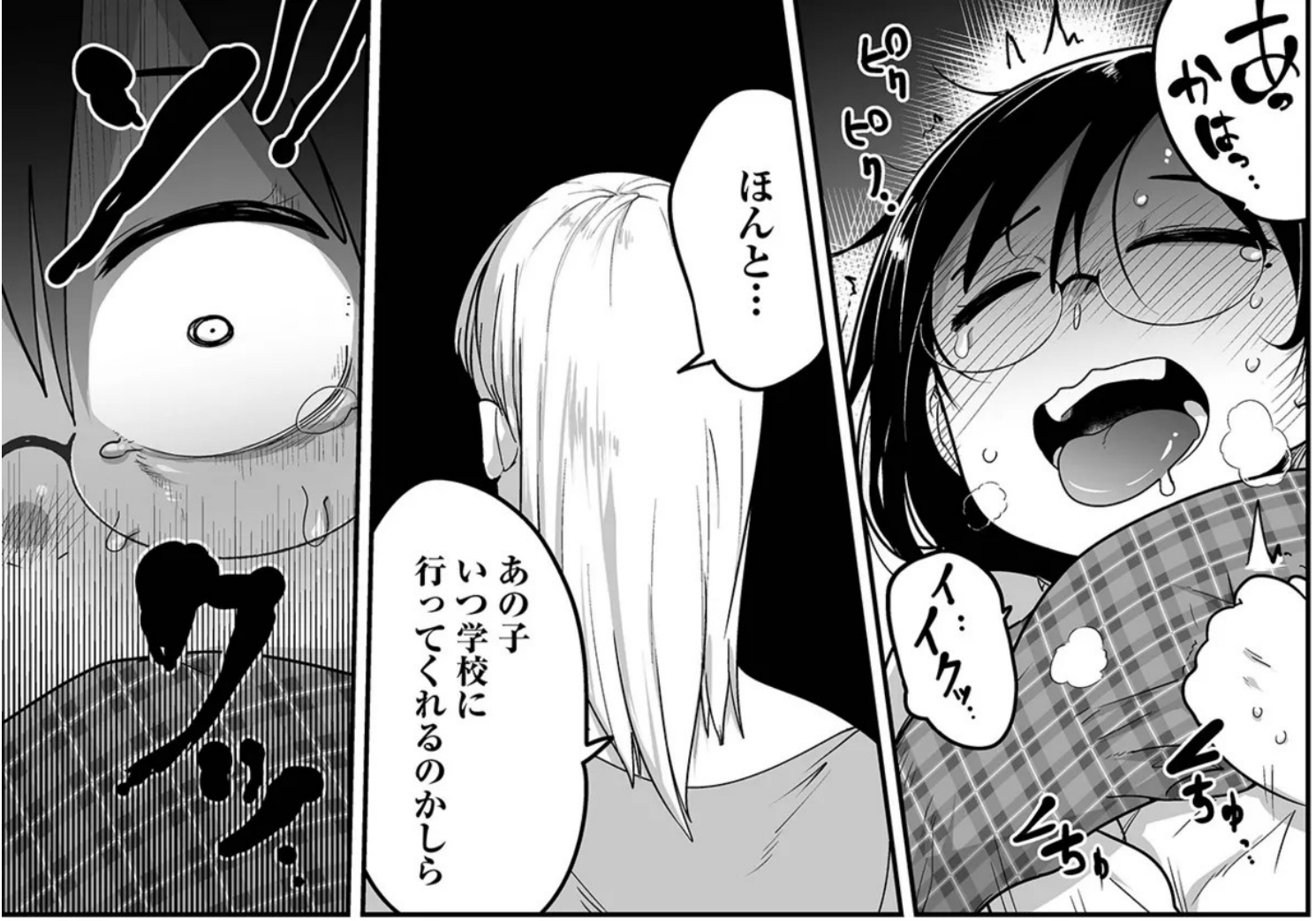

すずめちゃんを
受け持って
数週間がたった
それでは
今日はごちそう
さまでした
また来週も
お願いねー
ガチャ
フー…
えーと
来週も
週4で
この時間と…
あれ？
ペンがない…
くん
くん
くん
また
あの子か…
スゥー
スゥー
スゥー
スゥ〜〜〜…
僕のペンで
何してんだろ…


ドラドラ！
ボフッ
男の人のにおいがする…
スゥー…
ギュ…

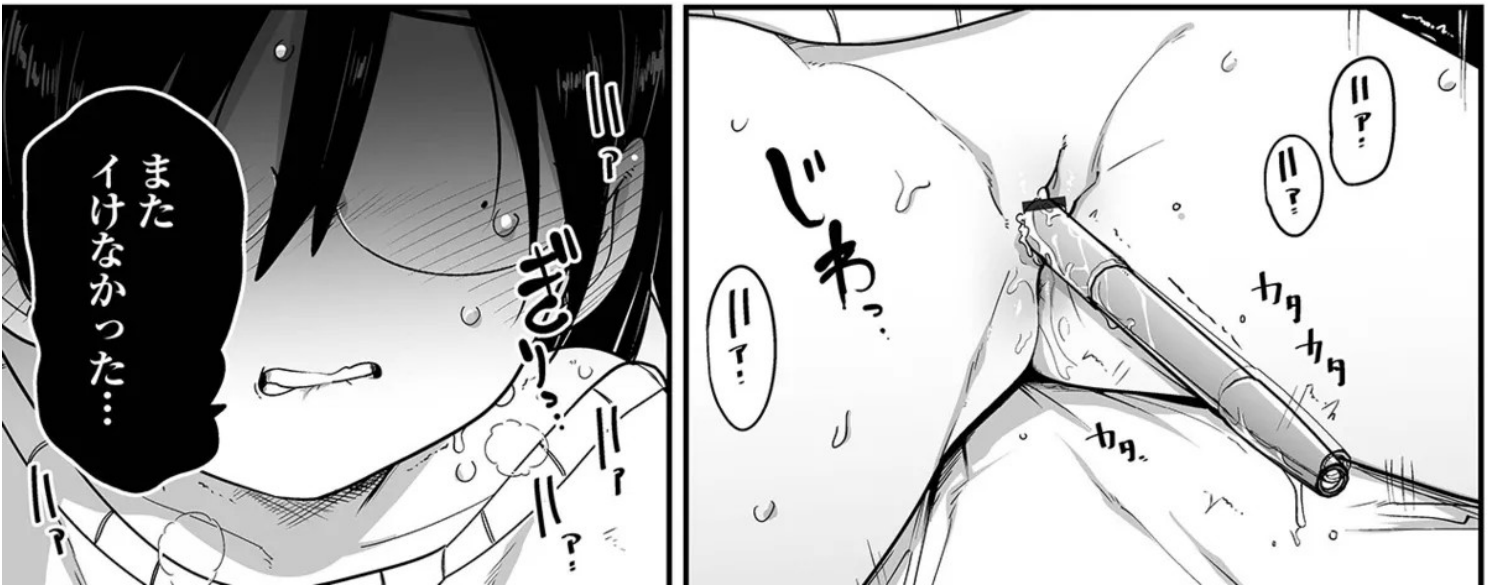

ゴロ…
もぞ…
フー…
んっ…
もぞ…
フー…
もぞ…
んっ…
もぞ…


フー…
ビクッ
ムリ
ムリ…
ビー…
ぐっ
ぐっ…
ぐっ

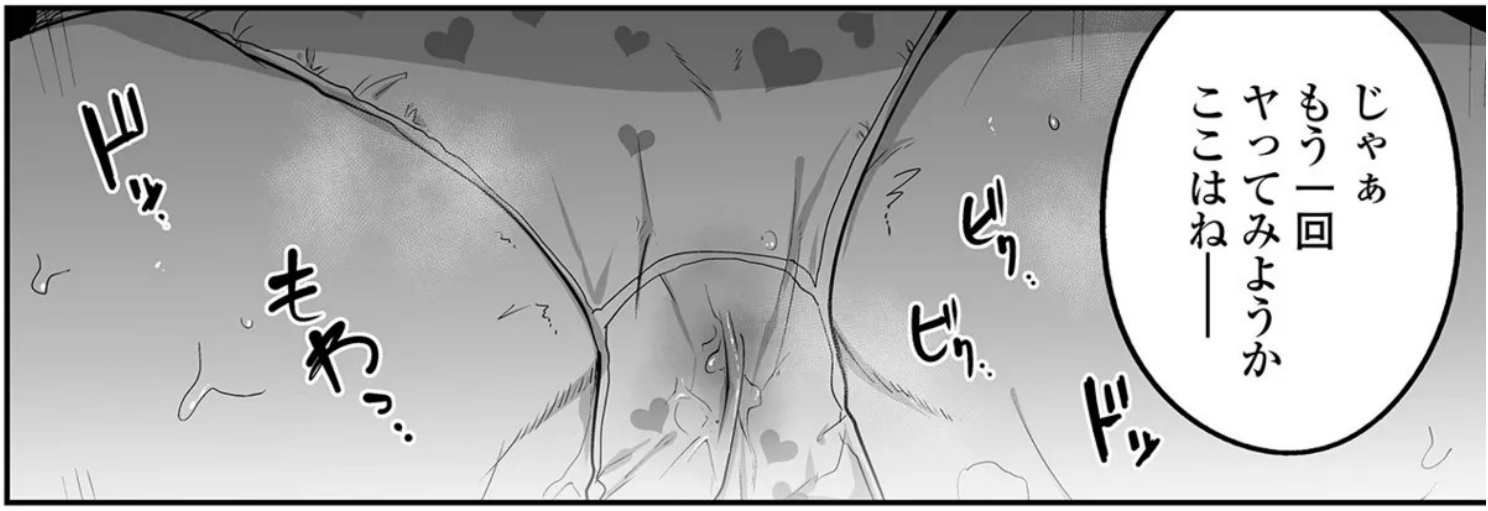

ちゃぷ
ちゃぷ
ちゃぷ
ちゃぷ
ちゃぷ
ビクッ
くちゅ
くちゅ
あっ
あっ
くちゅっ…
もっと…!
くちゅ
くちゅ!
くちゅ
ぐりぐりっ
ぐりぐりっ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ムンっ…!
ビュッ
ぷっ
ぷっ
ぷっ
ぷっ
ぐっ
ビリ
ビリ
ぐっ
ビクッ
ビクッ
くちゅ!
くちゅっ!
くちゅっ…
くちゅっ!


あっ
かはっ…
ピク
ピク
ほんと…
あの子
いつ学校に
行ってくれるのかしら
イ…イクッ…
ムちゅ…
ムちゅ


……
ハァ
ハァ
ハァ
ギギ…


ハァ
ハァ
じわっ…
カタカタ
ハァ…
カタ…
ハァ
ハァ
ぎりっ…
ハァ
ハァ
ハァ
また
イけなかった…

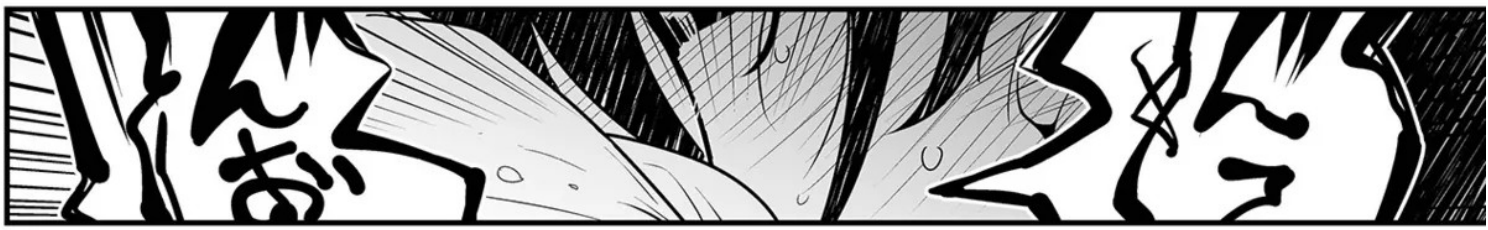

そうそう
正解だよ
えーっと
ここはねー
スッ…
ドキッ！
あれ？
すずめちゃん
分からないかな？
ここは先週
やったぞ～
ッ…
ピン…
ッ…
もうっちょっとで
イけるんだけどなぁ～
ドクン…
ドクン…


じゃぁ
もう一回
ヤってみようか
ここはね――
ドッ…
ビク…
ビク…
もわっ…
ドッ…


すずめちゃんは
たまにとても
辛そうな顔をする
何かを
我慢している
ような
ハァ…
ハァ…
ハァ…
ハァ…
ずっ…
せ…
せんせぇ
トイレ…


ギリ
ギリ
ギリ
ビク
ビクッ
ビク
ヒッ
ヒッ
ヒッ
ぐっ
GottaGo Fast!
ムチ
ムチ
ムチ
フッフッ
ぶっ
ぶっ
ぶっ
ぶっ
先生にバレちゃう…
早くイかないと…
ガク
ガク
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
うぐっ
フッ
ちゃぷ
いぐっ…
い…
ピッ
ジャ
流す
小
ワイドビデ
いっ!?
フー
フー
ウグッ
なんでぇ…


ボフッ!
ア…
ア…
ア…
うちの子は普通だと思ってたのに…
何でこんな事になっちゃったのかしらねぇ…
ア…
うわっすずめちゃんだめずらしい!
一学期以来?なんで学校来なかったの?
いいなー私も休みたい
だれこの子?家で何してんだろ羨ましい


んおぐっ


ピロン
14:00
>23 すずめ
今日はお母さんがいません
部屋で待ってます
あれ?留守かな今日入ってたと思うんだけど…
ん?
ガチャ
ただいまー
すずめちゃん?
すずめちゃんいないの?
ギギ…


すずめちゃん？
！
せんせぇ…
ガチャ
わたしね…
もうずっと前から
学校に行ってないの
お母さんが
すごく
心配してて…
早く
良くなりたいのに
!?
…でも
良くなったら
学校に行かなくちゃ
って思うと怖くて…
プル
プル
だから
おねがい
せんせぇ…
プル
わ…わたし
頭がおかしく
なりそうなのに…
でも
最近マンネリ気味で
全然イけなくて…
ハァ
ハァ
ハァ
プル
プル
わなわな
わなわな
わなな
わたしの
オカズになって…！
オカ…
えっ……？


どうやら
すずめちゃんは
身近な唯一の男性の
僕をオカズ的な
目で見ていたらしく
その日から僕は
すずめちゃんの
ストレス解消の
玩具になった
すっ…
すずめちゃん
大丈夫？
痛くない？


入ってる…
本当にこれって
痛くないの？
すごく
キツくて…
つるつる
なんだけど…
うわっ
すごい光景だ
これは…


うぐっ
すずめちゃん
もっもやさしくう…
アッ
ムグッ
アー!!
チュ!
チュ!
チュ!
ハァ
ハァ
ぐっ
あぐっ


はっ
かはっ
彼女のために
なればと始めた
オカズ役
だったけど
すずめちゃんの
オナニーは凄まじく
痛いくらいに
そのちいさな体を
叩きつけてくる
チュン!


すずめちゃんの
処女膜は
日ごろの激しい
オナニーで
とうの昔に
擦り切れて
しまったらしく
ッキ
ー…
すずめちゃん
やっと全部
入ったよ…
ー…
……♡
ッッ
ッ
ガク
ギュ…
ガク
ガク
ビク
ビク…
ハァ…
ハァ…
動く
からね…
ズズ…
…ウン
僕から盗んだ
マーカーペンより
太いと褒めてくれた


すずめ
ちゃん…
ハアッ
フーッ
パチュ
パチュ
パチュ
パチュ
ギッ…
ギッ…
これが
終わったら
昨日の算数
だからね…ッ！
フーッ
ハッ
ハッ
ウン
ウン
なくした
自分の私物に
囲まれていると
自分もその一部に
なったようだった




あっ
ごめん出る…
ビュッ…
ビュルッ…
ビュルルル


そんな衣装
どこで買ったんだい
すずめちゃん！
いつもより
興奮する！
わっわたし
ヒキコモリだからぁ！
せんせぇが
興奮すると思って
ネットの通販で
買ったのぉ！


とか言って
本当は自分が
興奮するから
なんでしょ!?
お母さんは
すずめちゃんが
ヘンタイだって
しってるのかい!?
おっ…
おかあさんは
わたしが
普通の子じゃないって
思ってるから…っ
えっ
あっごめん…


うぅ…
いつもより
出てしまった…
ハァ…
ハァ…
ハァー…
ハー…
どろっ…
ほか
ほか
ブリッ
僕は
すずめちゃんより
ヘンタイかも
しれない…
ア…
ア…


勉強は…？
すっきり
えっ
あっうん
そうだね…
ハァ
ハァ


休憩中
ハー…
ハー…
せんせー
なんだい
すずめちゃん…
ぎゅ…

もちろん
僕は決して
ロリコンでは
ないのだが
こんな可愛い子に
使われるなら
本望だと思っていた
そう
そう
こうですか!?


このころから
すずめちゃんは
体調のいい日に限り
徐々に外出できる
ようになった
ざわざわ…
せんせぇ
どうかな!?
うんとても
似合ってるよ…
前がかがみ…
♡
っていうか
外で先生って
呼ぶのはやめよっか
いろいろ誤解が…
あっ
にっ…
似合ってる?
お兄ちゃん♥


もちろん目的は
コレなんだけど…
大丈夫これなら
お兄ちゃんが
妹をトイレに
連れて行ってる
だけだから…
ハッ
ハッ
レロレロ
お兄ちゃん
いつもより
硬くなってるぅ~
…


おにいちゃん…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
おにいちゃん
はぁくぅ…
ビクッ
ズッ
ズッ
ズ


えへへ…
せんせぇ
痛くするより
せんせぇに優しく
された方がきもちいね…
すずめちゃんは
とてもまじめな
性格で
そうそう
正解！
せんせぇ
休憩しよ…？
ね？


同年代のどの
生徒より熱心に
授業を受けてくれた
すずめちゃん
まだ始めたばかり
だから…
シたらちゃんと
勉強するからぁ…
おねがい
たまには
こういう時も
あったけど…


すずめちゃんの
体調は数日ごとに
激しく上下する
すずめ
ちゃん！
もっと
ゆっくり…！
気分がいいと
思っていたら
次の瞬間には
地獄に真っ逆さま
といった具合だ
ちょっと
休憩しよ…！
すっすずめちゃん
激しすぎる！
授業の入ってない
日が続くと
さらに不安定に
なってしまう


すっ…
すずめちゃん
血が出てるよ…！
ゴプッ
ガッガッ…
今日はもう
終わりにしよう…
ほら…
いっぱい膣内に出したし
明日も会えるから…


……


ずっ…


こうなってしまうと
この日一日
すずめちゃんを
なだめるのに時間を
使う事になってしまう
……
ゲホッ
ゲホッ
ゲホッ


なんで
あの子が…
きっと
根本的な問題は
すぐ近くにあるのだろう
…
あの人もきっと
娘の事が心配で
気が気じゃないのだ
すずめちゃんも
お母さんのために
無理にでも
母親の思う〝普通〟に
なろうとしている


すずめちゃんの
元々の性格は
明るくておちゃめで
それを
知っているから
余計に辛いの
かもしれない
今その笑顔は
僕にだけ
向けられている


でも僕は
所詮彼女の
家庭教師
兼オカズであって
他人の家庭に
口出しなんて
偉そうな事は…
いやっ…！
何を
言ってるんだ
僕は…
ムッ!
僕には
すずめちゃんの
オカズとしての
責任がある…！
彼女を
幸せにする
責任がある！
あのっ
すずめちゃんの
事でちょっと
お話が…


しばらくして
僕の勧めで
すずめちゃんは
夜間の学校に
通うようになった
僕はあの親子に
今いる世界が
この世のすべてだと
思ってほしくなかった
やぃやぃ
チーン!
先生のかおり
一時期
悪化していた発作も
自分で抑えられる
ようになったらしい
いい方法が
見つかったのだとか


ピンポーン
トタタ
はーい
せーんせ
こんにちわ
ニコッ
Love You Do
どう
学校楽しい?
どーぞ
ウン
友達も
出来たんだ
あーい
WE'RE BACK!
すずめちゃん
久しぶりー
せんせ
お仕事
大変だって
聞いたよ…
もじっ
あはは
まぁね…
せんせ
ストレス
溜まってる…
よね?
どうやら
僕の世界にまだ
すずめちゃんは
いてくれるようだ

●END●


あっー
うぇ
このあとプール行こうぜ
ざや
いいねー
ざや
あーアイス食いてー
ざや…
ドキッ
ひゃっ!?
きみ子!?
なんだようるさいなぁ
フン!
着替え取りに来ただけだろう
今は男子の番だろ!
普通に入ってくんじゃねーよ!
変態チビ!
カァァ…
アセ
アセ…
なにがヘンタイだ
お前らのちんこなんて見飽きたよ
ハァ～…
ウソだろいつの間に…
ズーン…
くそっ女だからって…
ゴソゴソ…
はぁ～…
チラッ
ハイハイ私のおっぱい見せてあげるからこれでおあいこでしょ
ちくび姫


みんな
どうしたの？
あっ！ みのる！
お前も言ってやって
くれよ！
また
きみ子がさぁ…
きみちゃん
どうしたの？
？
うが…
ぬっ

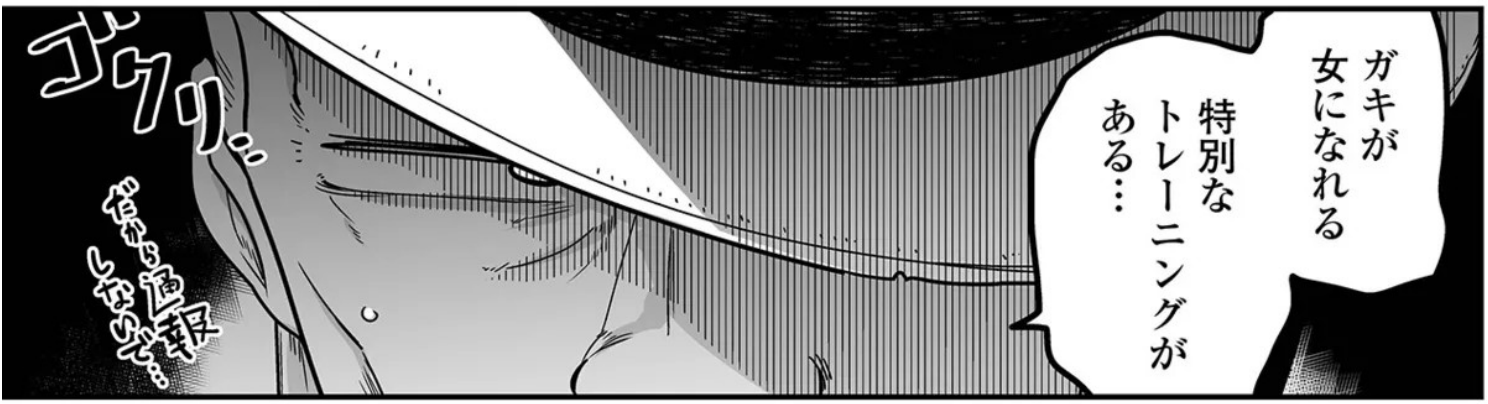

イヤああ
ぁぁあああん!!
何見てんだよ
バカァァァン!!
っていうか
そんなモノ
早くしまえ!!
はぁ？
お前が
勝手に…


くそおおお
ばば…
ばば…
ゲッ！
もうお嫁に
行けないいいい!!!
なんなんだ
アイツは…
ハァ…
ハァ…
おれ
見損ねたわ…
ハァ…
？

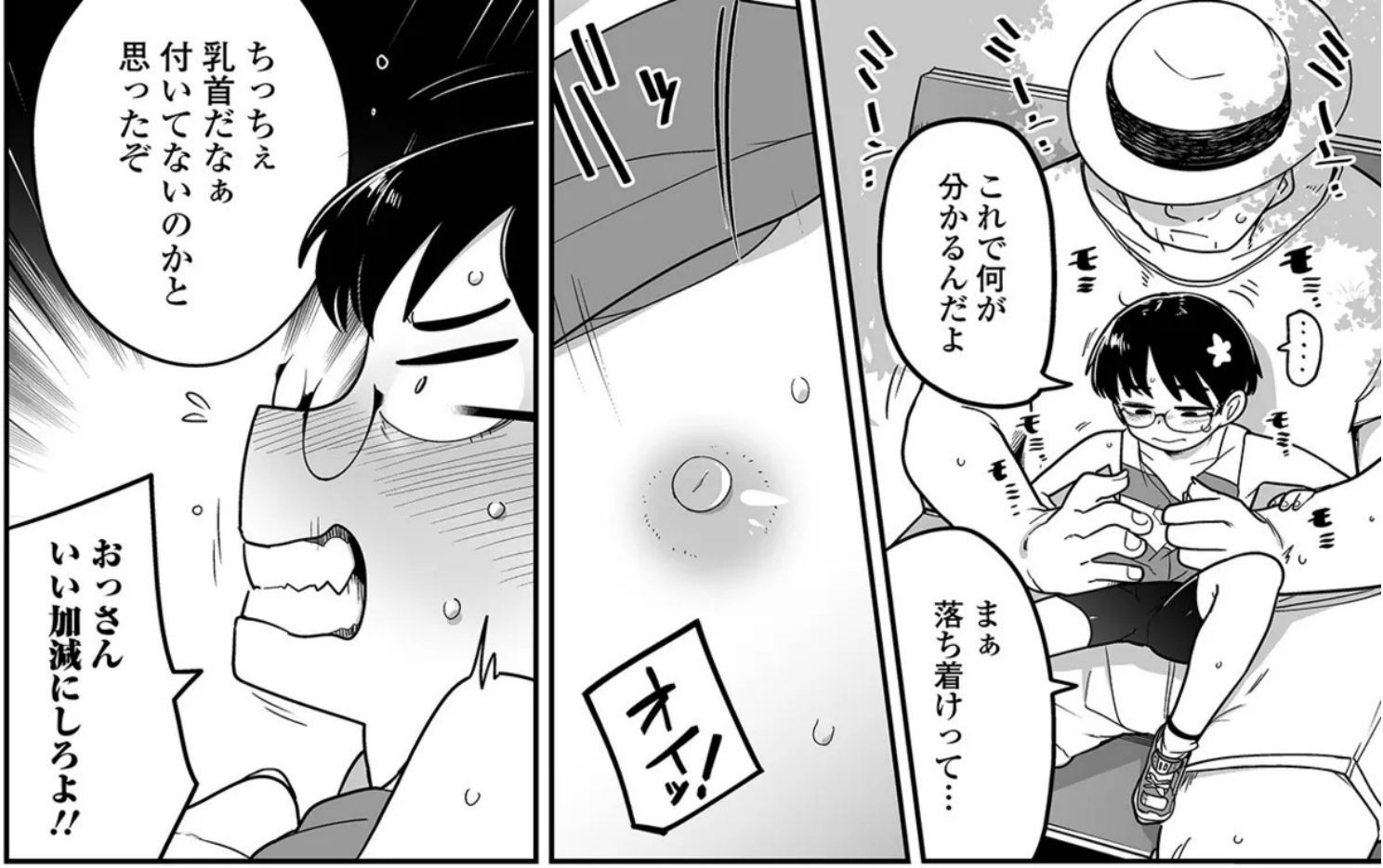

ハァ…
ハァ…
ハァ…
ハァ…
みのる君…
ぐすっ…
私のおっぱい見てながっだ…
男子はみんなあたふたしてたのに
ふた
あた
ごび…
みのる君は私のおっぱいに見向きもしなかった…
理由は簡単だ
その
みのるという
少年…
恐らくは
『巨乳派』
あっ！
いつも公園で
エロ本読んでる
怪しいおっさん!!
フッ…
あっ
ひどい
言われようだな
まぁそうなんだけど


ずっ…
きょ…
巨乳派…？
私に
興味がないって
訳じゃなくて…？
ドクン
ドクン
ドクン


キモいおっさんに恋愛の何が分かるってんだ！
だっ
わぁぁぁぁぁ
えっ ちょっと待って!!
豚箱でエロ本でも読んでろ!!
事案だ 事案！
おいおい 早まるな！
キッ
手が無いなんて言ってないだろう！


ガキが女になれる特別なトレーニングがある…
ゴクリ…
だから通報しないで…


ふむふむなるほど…
あ――…そういう事ね
モミ
モミ
モミ
モミ
モミ
プル
プル…


まぁ
落ち着けって…
これで何が
分かるんだよ
ビーン…
ビーン…
ビーン…
……
オイッ!
ちっちぇ
乳首だなぁ
付いてないのかと
思ったぞ
おっさん
いい加減にしろよ!!


じゃあ
始めるぞ
まずは
感度を
見てみよう
ちょっ…
コリ
コリ
コリ
コリ
コリ
コリ
コリ
コリ
コリ
コリ
コリッ…
さて
どうだ?
ん…
ピクッ
ムズ…
何か
感じるか?
いいか
大人の女に
なるために
大事なのは
おっぱいの
『形と感度だ』
モゾ
モゾ…


っていうかお前…
好きな男以外に
触られても
別にいいんだな
カリカリ
別に…
何も感じないし
気持ち悪いだけ…
カリ
フーフー
さわ
チッ
さわ…
なるほど…
ぐに
フーム…
ぐに…
押してみると
分かるが…
ちょっとは肉が
あるみたいだな


ビク
しかし
まだ芯が
固い
カリ


おじさんが
念入りに
マッサージして
やるからな
コリ
んくっ♡


くすぐったい
だけ…
フー…
コリ
そうか？
体が動いてるぞ
ビク

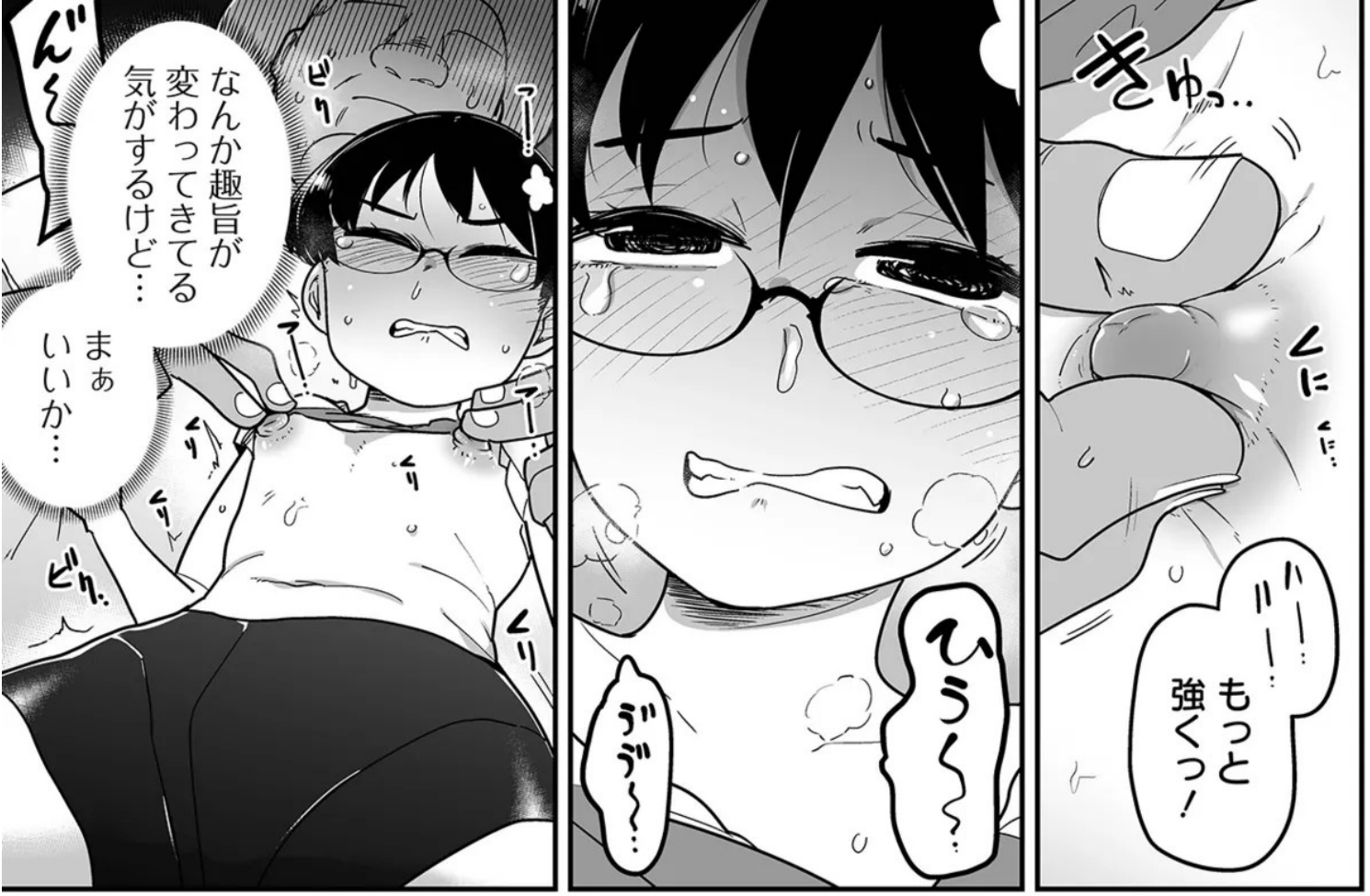

なんだろう
この感じ…
ー…
頭が
ぼーっとして…
ー…
お腹の奥が
きゅ〜って
あったかくなって…
モゾ
モゾ…
おまた
擦り付けるの
やめてくれる？
ビクッ
!?
ビク…

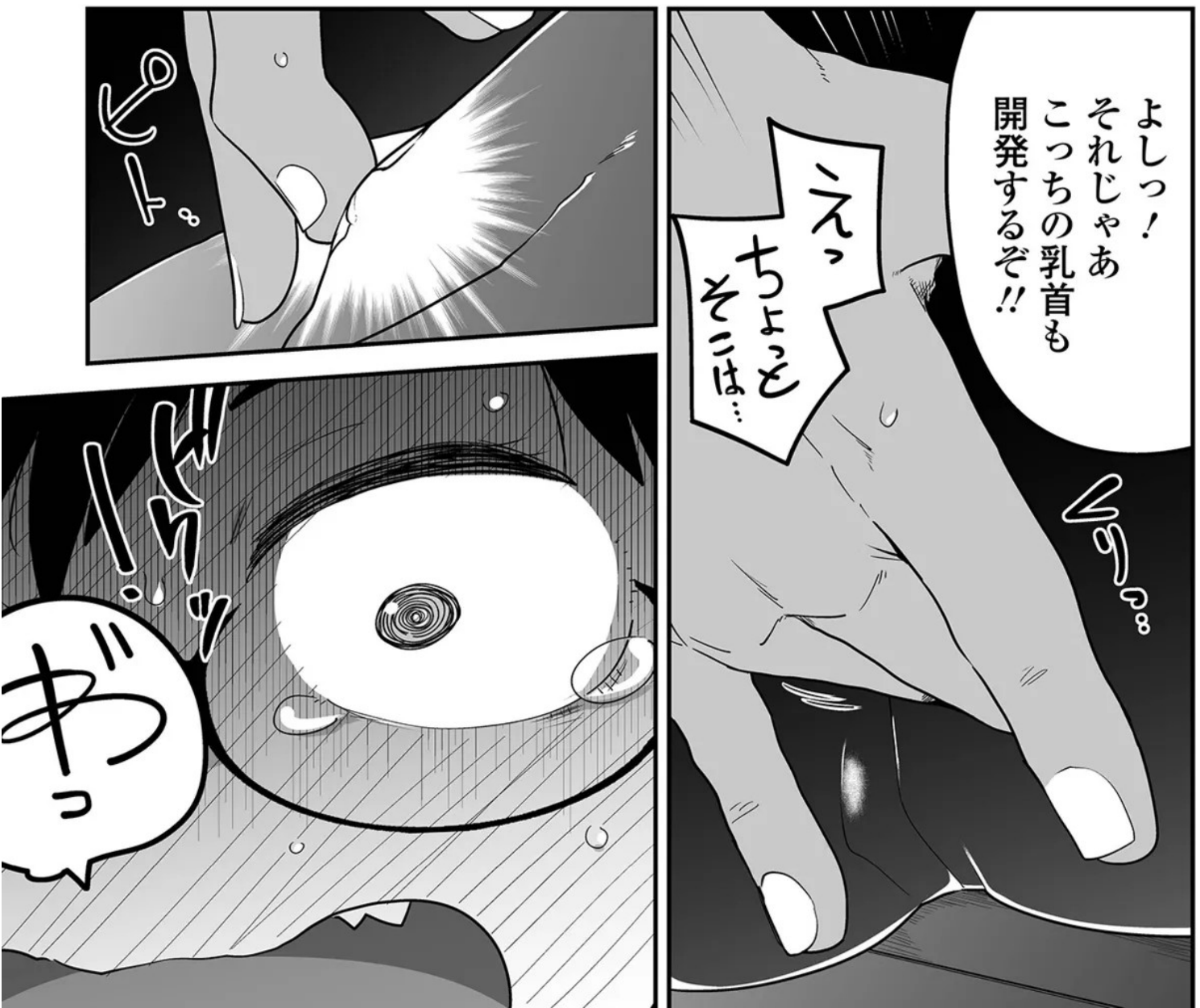

いきなりモゾモゾ
始めるからおじさん
びっくりしたわ
もしかして
気持ちよかった？
ヤァ〜…
な…
なぁ…
ばっかじゃないの!!
そんな事してないし
ムキーッ
こんなの
気持ち悪いだけ
だっつーの!!
ふーん
そうかなぁ
まぁいいか
今日は
このくらいに
してやる
ヤマヤマヤマ
プル
ー…
プル
人通りも増えて
来たしね
続きは
明日って事で…
にっ…
二度と
来るかーっ!!
わぁぁ
ぁぁ


リー…
リー…
ビヤー！
くっそー
あのおっさん
思いっきり
ツネるんだもんな
まだ
ひりひりする
じん
じん
ビヤー！
でも
びっくりしたけど
気持ちよかった…
チラ…
かも…
ドキドキ…
あっ…
あー…
おっ…
何やってんだ
私は……！
ビシャ
ビシャ
ビシャ

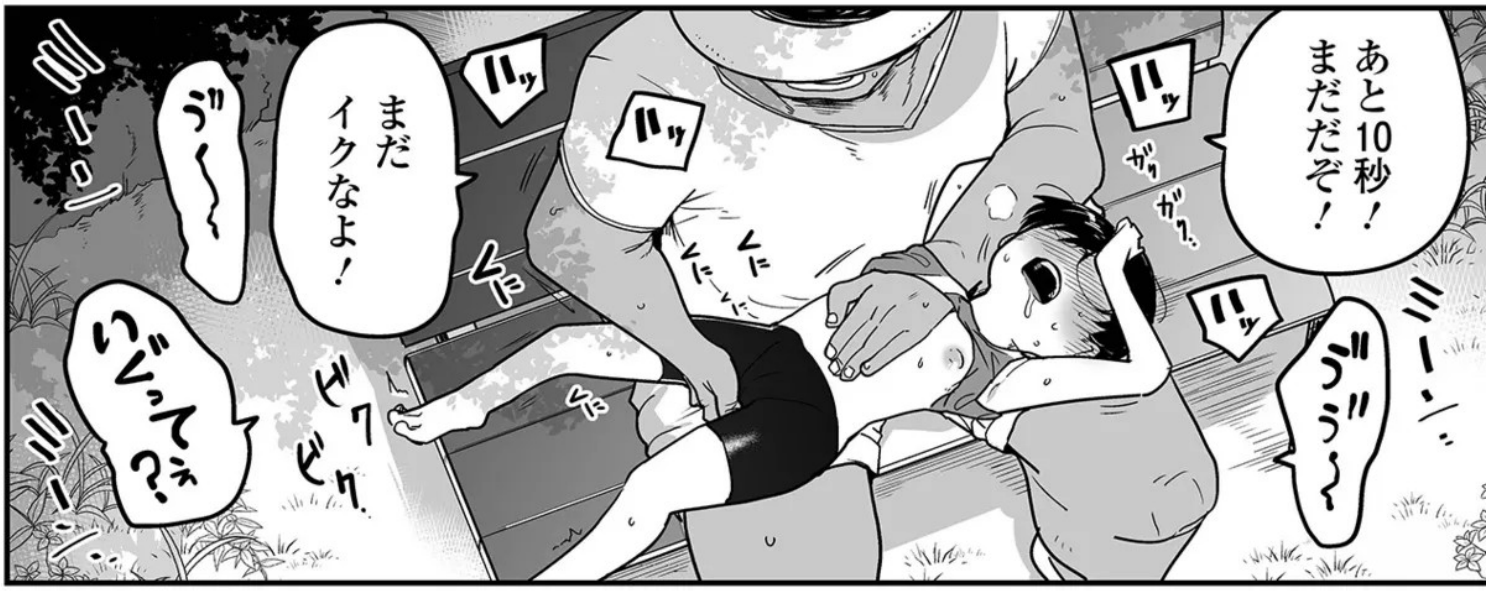

ミーン…
ミーン…
おじさん
ざっ！
昨日の気持ちよかったんだけどっ！
ッ
もう一回やって!!

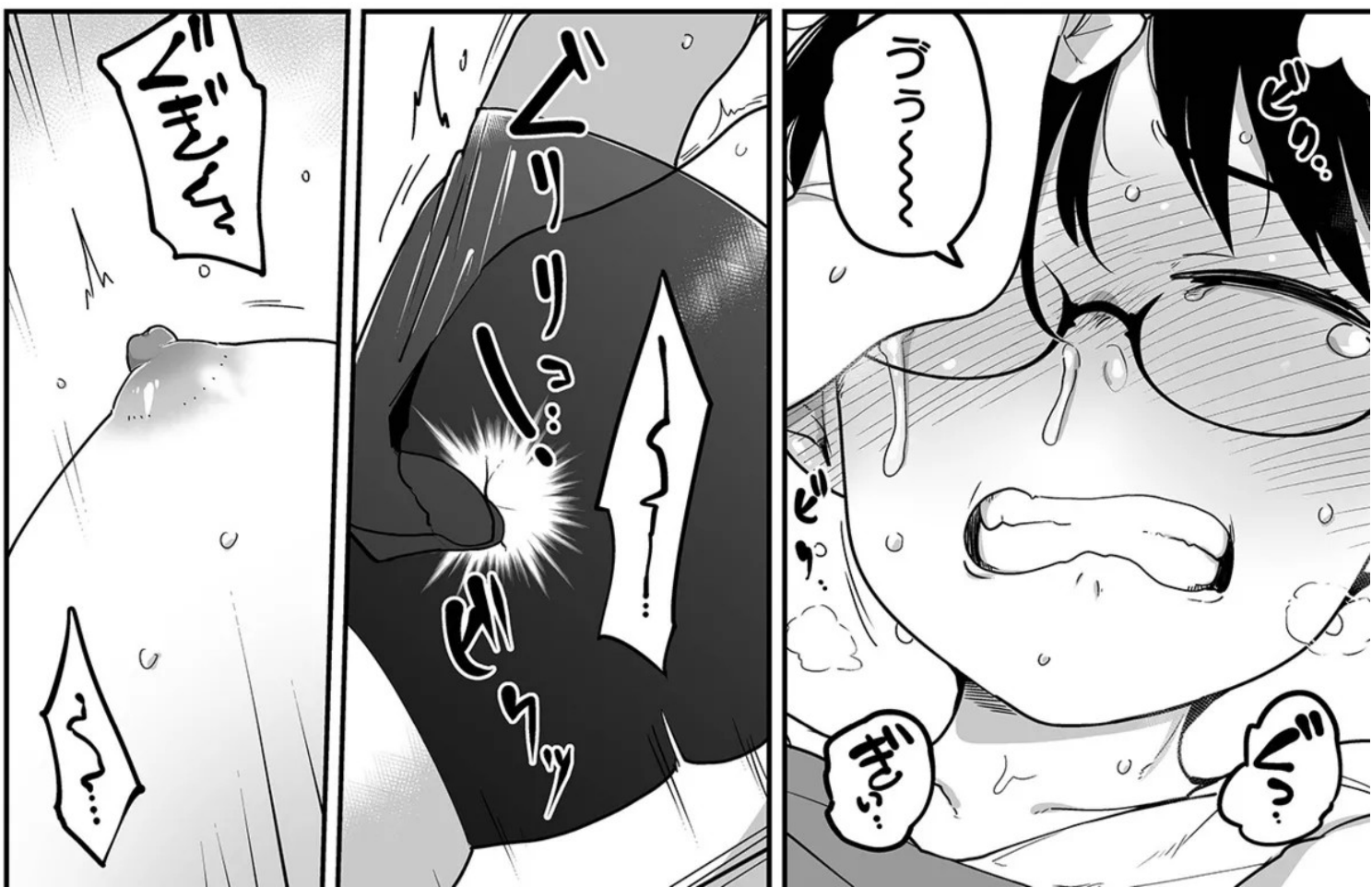

ビク
ハッ
ビク
ハッハッ
ハマ～～
ビクビク


きゅっ..
もっと強くっ!
ひぅ〜〜..
づづ〜..
なんか趣旨が変わってきてる気がするけど…
まぁいいか…


よしっ!
それじゃあこっちの乳首も開発するぞ!!
えっ ちょっとそこは…
ピト。
ビクッ!!
ぎっ


ちゅ…
ちゅ…
ギィッ
ちょっ!!
だめっ
あっ
ちゅ…
なにがダメだ!
くすぐったくても
我慢しろ!!
こうやって
刺激を与えないと
女になれないぞ!!


あと10秒!
まだだぞ!
ハッ
ハッ
ハッ
ガクガク…
ミーン…
づづづ~
まだ
イクなよ!
づ~~
ミーン…
ビクビク…
いぐって?
ミーン…


づづづ~~~
ビク…
ぐっ…
ぎぃ…
グリリッ!!
ビクッ
ビギィィ
ぐ…


ぎゅ～…
ビビっ
ハッ


よく頑張ったな
これだけ感じるようになればもう大人の女性の仲間入りだ
ハー!!
これからもトレーニングを続ければ体も女性らしくなっていくだろう!
ふぁい…


次ー!
ピーッ
ピーッ
次さとぅー!
今日のトレーニング楽しみだなぁ…
ハァ
もみっ…

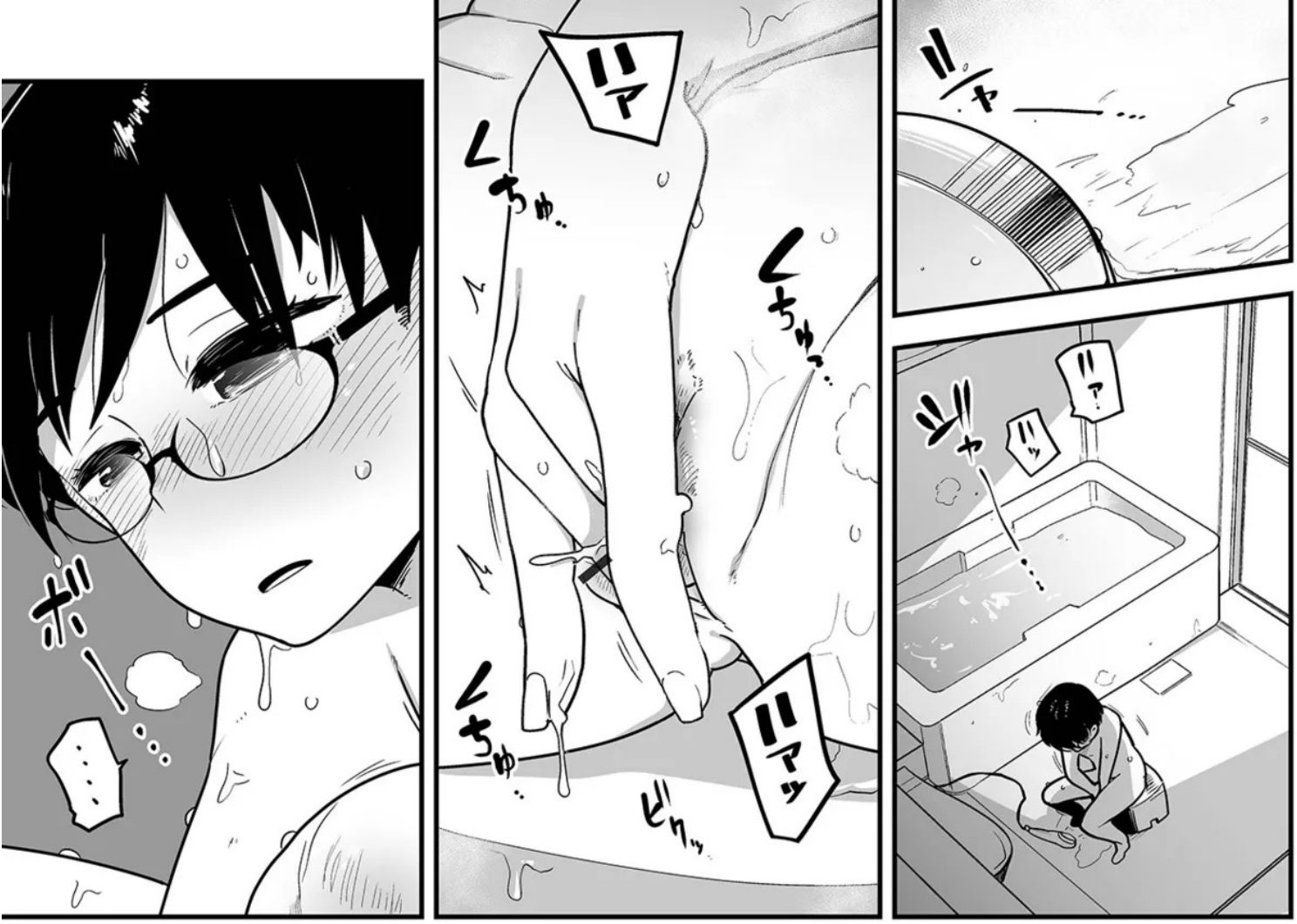

きみちゃん
トレーニングって？
ほらほら
どうした！
お前の根性は
こんなもんか!!
ァ…!
ァ!
ァ!
ァ…!
追い込みかけていくぞ！
あと10セット!!
どうだ
感じるか!?
腹の奥が熱く
なってるか!!
ハイッ
コーチ…

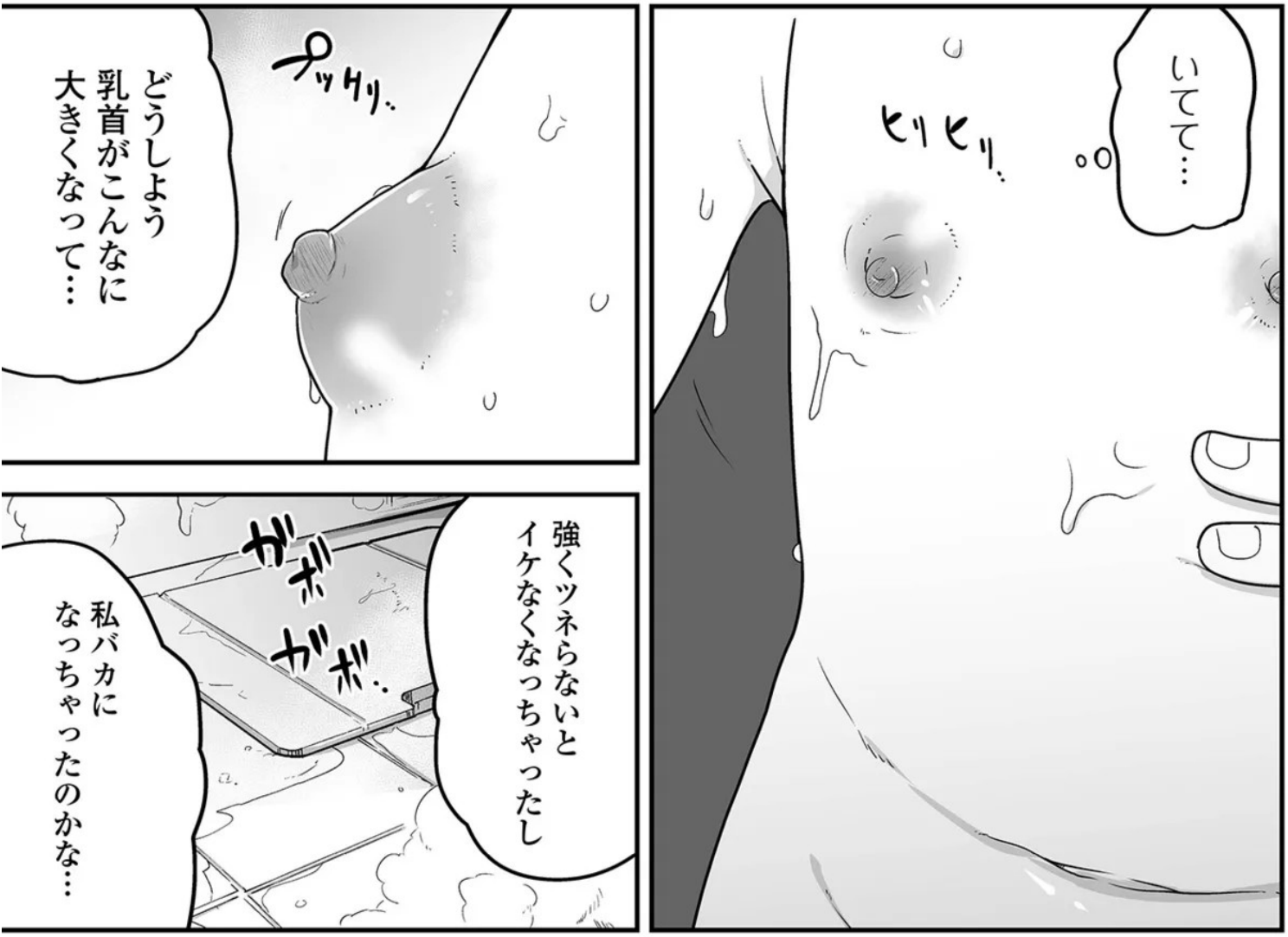

最初は痛がるばかりで
どうなる事かと
思ったが
やっと
感じるように
なってきたんだな!!
ぐっ
ぐうっ
そうそう
もっと腰を
振って!!
お前が
我慢強い子で
俺も嬉しいぞ!!
フーッ
そうだ力を抜け
最初の時みたいに
血が出てしまうからな
お股をリラックス
するんだ!!
ぐっ もう
イキそうだ!!
膣内で
出すぞっ!!
ドプ
ビク
ビク


全身で感じるんだ!!
自分が巨乳になる姿を
思い浮かべろッ!!
フーッ
フーッ
フーッ
ぐっ
ぐりぐり
ぐちゅ
ぐちゅ。
お前は巨乳になって
好きな男子の心を
虜にする!!
復唱しろ!!
わぁ
わたしわぁ!
巨乳になって
好きな男子の心を
虜にずるぅぅ!!


ジョボボボ…
ふー…
今日もトレーニング
キツかったぜぇ
お前も早く
おまた拭いて
着替えろ
ちゃんと親には
友達と遊んでたって
言うんだぞ
ガク
ハー…
ハー…
ガク…
ハー…
ドロ…
コーチ…
ハー…
私…
本当に赤ちゃん
出来ない？
ドロ…
子供と大人じゃ
赤ちゃんは
出来ないって
教えただろう？
心配なら
ヒリ出してやろうか？
ズ…
ブリッ…！
おっ


ピーッ
ピーッ!!
どうした朝倉(あさくら)!
イクッ
ハァ…
ハァ…
な…っなんでもないです!
先生!
ビッ


ハァ
ハッ
ジャ…
ハァ
ハッ
くちゅ…
くちゅ…
くちゅ…
ビクッ…
ボー…
…


いてて…
ヒリヒリ…
プックリ…
どうしよう
乳首がこんなに
大きくなって…
ガボガボ…
強くツネらないと
イケなくなっちゃったし
私バカに
なっちゃったのかな…


ミーン…
ミーン…
ミーン…
ま…前にも
言っただろう
お前の体が
大人になってる
証拠なんだって
まずいな…
ウソだ！
おっぱいは
全然大きく
ならないのに！
クラスにこんなに
おっぱいのわっかが
大きい子いないよ！


ハァ
ハァ…
それに最近
お腹が…
お腹が変…
フラ…
おい
大丈夫か？
ドサ…
ハー！
ハー！
おい！


あーあ…
遂に
デキちゃったか
腹に違和感
だって？
ハァ。
ガキみたいな事
言ってる割には
体の方の準備は
出来てたって訳か
ハァ。
最近の学校の
性教育は
なってないなぁ
正しいオナニーの
やり方くらい
教えてやれば
いいんだよ
性に狂うのは
男の子だけじゃあ
ないんだってね
へへへへ…
これから
君は…
いろいろな事を
体験するだろうね
ズッ
ヴ！
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ヴッ
本当に
いろいろな
事をね…
ヴッ
ハァハァ
いいぞっ！
パチュ…！
パチュ…
パチュ…
パチュ…
は…
は…
これは
これで
なかなか…！


君みたいな子は本当は珍しくないんだ…！
ズッ
ズッ
ズッ


惜しむらくは
この子が大人になった
姿を見れない事だ
きっと君は
美しい体付きに
なるだろうね
ズルり…
ゴポ…
君が望んだ
通りの姿にね…
ハァ…
ハァ…
君は
いい
お母さんに
なるよ
ピー!
きみ子ちゃん
早く!
もうみんな
帰っちゃったよ
ううん
今着替える!
先行ってて!
サッ…
ちいさく
なれ…
ちいさく
なれ!


ぽっこり♡
……


ハァー…
ハァー…
……

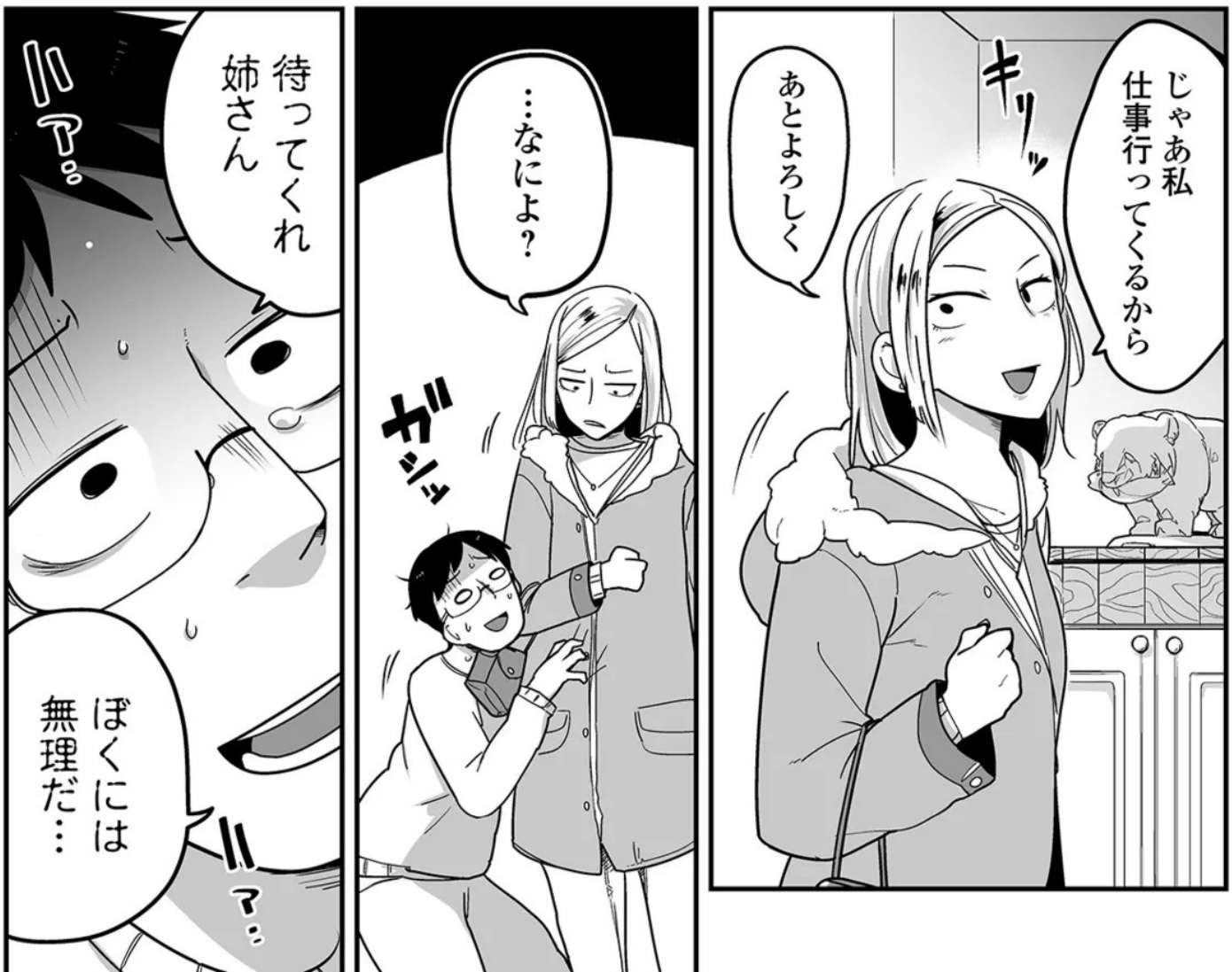

ドッ!


し…
しらない…
わたし
知らない
から…


み…
みんな待ってー
ミーン…
ミーン…
ﾀﾀﾀ…!
●END●


フキちゃんは不機嫌
おーいフキちゃーん
何してんのー？
ボ
ボ
ボ
ボ
フキちゃんってばー！
ボボボ
朝から除雪車なんて見てなにが楽しいんだろう
あの子大きいものが好きなのよ
ブルッ
フキちゃーんそろそろ戻ろうよー！
じぃ～…
…
ー…
フン
プイッ
なんで無視するの!?


姉が実家に
転がり込んで来たのは
ちょうど一か月前…
なんと
小さな女の子を
連れていた
両親は
戸惑いながらも
結局は喜んでいた
なんと言っても
初孫なのだ
ムスッ
東京で
何があったのかは
言わなかったが
心機一転
キリッ
やり手の姉は
この子のために
すぐに働きに出た


じゃあ私
仕事行ってくるから
あとよろしく
キリッ
…なによ？
ガシッ
待ってくれ
姉さん
ハア。
ぼくには
無理だ…
ア…


何言ってんの！
この家で暇なヤツ
なんてアンタしか
いないの！
ヤバッ
ピコピコ…
散々親のスネ
かじって来たん
でしょう！
少しは人の役に
立ちなさいよ！
アンタが
面倒見るのよ…
ひぇえ
在宅で仕事は
してるのにぃ…
バタン
じゃあ
二人仲良くね～
ムスッ…
朝ごはん
食べよっか…
僕は
というと
そんな姉の
子供の世話を
無理矢理
任されたのだが…
うわー
めちゃ睨まれてる…
じっ…
いまだに
全く懐かれて
いない

フキちゃんは
いつも不機嫌だ

ムーン…

笑っている
ところを
見たことがないし

アハハ

あーっと
落ちた！

何に興味が
あるのかも
さっぱり分からない

恐竜に除雪車…？

場を和ませようと
僕が何か言う度
怒らせてしまう

フキちゃんは
くりくりしてて
可愛いね

しわぁ…

うわぁ
すごいシワ…

家では
いつも二人きり
なのに

まともに
会話も出来てない
気がする…

いってらっしゃい…

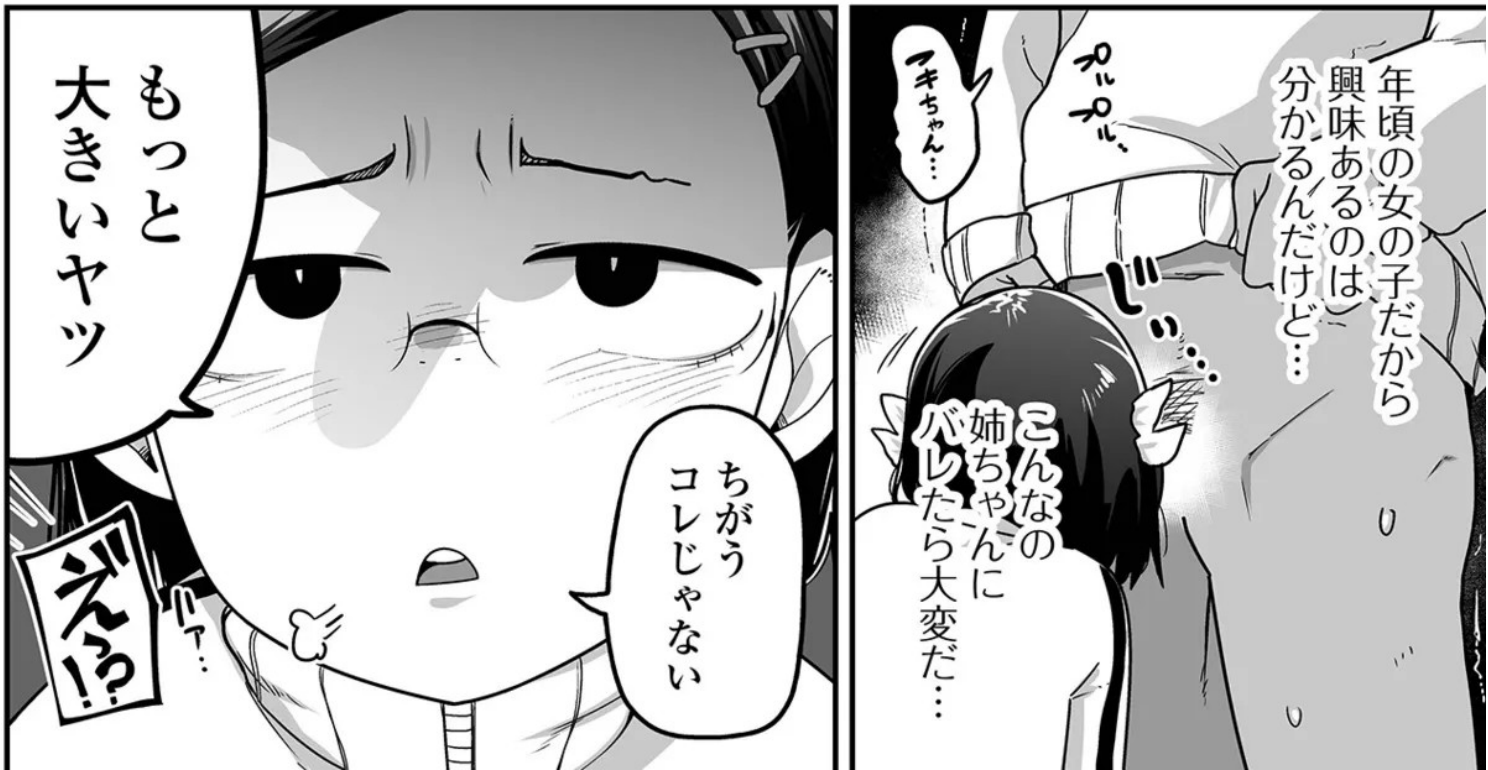
…

せめて何か
興味を引けるもの
でもあれば…


うん…
コク…
うんうん わかった
お母さん また遅くなる って？
コク…
社会人は 大変だな…
ズズ…
別に さびしくない…
お母さんは お仕事がんばってる
ガサッ!
ぶっ
フム…
よーしじゃあ 今日はお兄さんと なにか楽しい事 しよう
ギッ
フキちゃんは 何かしたい事 ない？
なんでも 言っていいよ
…


じぃ～～～…
はたらくくるま
大百科


ふふ…
フキちゃん
流石に
これは
まずいよ…
ブルブル


年頃の女の子だから
興味あるのは
分かるんだけど…
フキちゃん…
プルプル
じぃ…
こんなの
姉ちゃんに
バレたら大変だ…
ちがう
コレじゃない
もっと
大きいヤツ
えっ!?


ある朝の事…
おじさん朝だよ…
おじ…
!?
うーん…
ムクムクッ
ズルン
おじさん…？
ガー…
ボボボボ
ギンッ
!
ア
ア
ア


おっきい方。
アレ
えっ…？
大きいものが
好きってそういう…
わ 悪いけど
もう終わりに
するからね！
アセアセ
わかった
!?
アレは
女の子の裸とか
エッチな気分になった
時にそうなるの！
スル…
わかった
！
スル スル..
これでどうだ？
ピクッ
ぬぃぎ。


ムッ
ほらっ
おじさん
まだ？
ちょ…
ちょっと
待っててね…
マヨヨヨ…
だめだ…
緊張で勃たない…
さっさと
終わらせないと
まずいぞ…！
スコココ…
ふーー…
ふるんっ♡
うおおお
スコココ…
気合を入れろ
我が息子よ！
ヒッ
ガタッ！
た 勃った！
こんな姿
見られたら
絶対姉ちゃんに
殺される！
おおお…


ハァ…
どうだい…
男の人の
おちんちんはね
こうして
大きくなるんだよ…
ハァ…
ハァ…
分かったら
もう終わりに…
ハァ ハァ…
おっきい…
ピクッ
ピクッ
つんつん
ガシィッ
ロロ
ズズズ
ズズズ
ズズズ
イギッ
アヒッ
ブッ!
ゴメンッ
サッ
ごめんね
グロテスクだよね！
もう
しまうから！


スリスリ♡
スコ
スコ
スコ
えっ…!?
あっその動きは
まずいって…!
コレスキ♡
!?


お風呂
あがったよ
プリッ
おじさん


ふ…
フキちゃん…
ハァ…ハァ…
スコ…
スコ
ダメだっ…!
緊張で興奮して
しまっている
このままでは出…


ただいまー!
ガチャッ
ガタッ
がんばって早く
終わらせたよー!
誰もいないのー?
ハァ…
ハァ…
ハァ…
た…
耐えきった…


あっ
うん…
ビクッ!
えっ
なに?
アンタたち
いつの間に
仲良くなったの!
まぁ…
トトト…
やるじゃ〜ん
ハハハ…
姉ちゃん
ごめんなさい…
あれ以来
僕のモノは…
フッ
フッ
フッ
フキちゃんの
おもちゃに
されています
フキちゃ〜…
ゴシ
ゴシ…
ゴシ
ゴシ…
ぐ〜〜…


待って
フキちゃん…
おじさん
そろそろ
限界だから
ぶっ…
ビ
ビ
ビ
ビ
せっかく
お風呂
入ったのに…
汚れちゃう
よ〜…
どうして
こんな事に
なったんだ
フンフン
あの全く
懐かなかった
姪っ子が…
ゴッ
ゴシ
ゴシ
ビク
ビクッ
スリ
スリ
じわっ
ぶぶ〜…
フー…
フー…
フース…!
あんなに
一生懸命
僕のモノを…


ギュ
ギュ
ギュッ
ブブブ
もう限界
ハルルン
！
ブブっ
フキちゃんは
とても勉強熱心で
とろぉ
ぬる
ぬる
ピクッ
ピクッ
あっと言う間に
いろいろな事を
学んでいった
そして…
おじさん
とろぉ
スル


おっ…
おじさん
はやくっ
お母さん
帰って来ちゃう
ついに
この時が
来てしまった…
いずれ
こうなるとは
思っていたけど
姪っ子と
一線を超えて
しまうのか…
ところ…
だが
ヤるからには
責任を取らねば！
ちょっと
痛いよ？
十分
濡れてるな…


入ったっ
にゅるっ
ビクッ
ビクッ！
す…すごい
これが…ッ！
ピク
ピク…
表面が
すべすべしてて
気持ちいい…！
キュッ！
キュッ！
どんどん
狭くなってるぞ
これ以上奥に入れて
大丈夫なのか…!?
ズッ
ズッ
あっすごい
我慢してる！
我慢強い子!!
プル
プル
がんばって
もう少し！
これが
未熟な姪っ子
おま○こ…！
ぬる
ぬる…
ハァ
ハァ
づっ
づっ


最高だッ!!
オッ
オッ
オッ!
あ〜あ〜あ〜
ガク
ガク
ガク
あぁすごい！
フキちゃんの
膣内が喜んでるのが
分かる!!
フキちゃんの
大好きなおっきいものが
全部入ってるよ!!
パチュ
パチュ
パチュ!
フーッ
フーッ
ビク
ビク
フキちゃんは
エッチな子だったんだね！
僕を睨みながら
こんな事を
想像してたんだね！
フーッ
フーッ
ソク
うわぁぁ！
吸い付いてくる!!
キュ


はぁはぁ…
ごめんフキちゃん
もう限界だ…
膣内に出す
からね
膣内に出しちゃって
いいよね!?
僕は何を
言ってんだ
いいに決まってる
だろう
この子から
求めて来たんだ…
フキちゃんだって
こんなに嬉しそう
じゃないか…


うん
うん…
分かった
ヒッ
ヒッ
パチュ
大丈夫
コッチは任せてよ
ハァ…
フキちゃんの
世話は僕が
するから
うん
ハァ…
ううん
なんでもない
それじゃ
お母さん
また残業だって
ハアッ
ガク…
ガク…
それじゃぁ
今日も
遅くまで遊んで
いられるね
ボロォ…

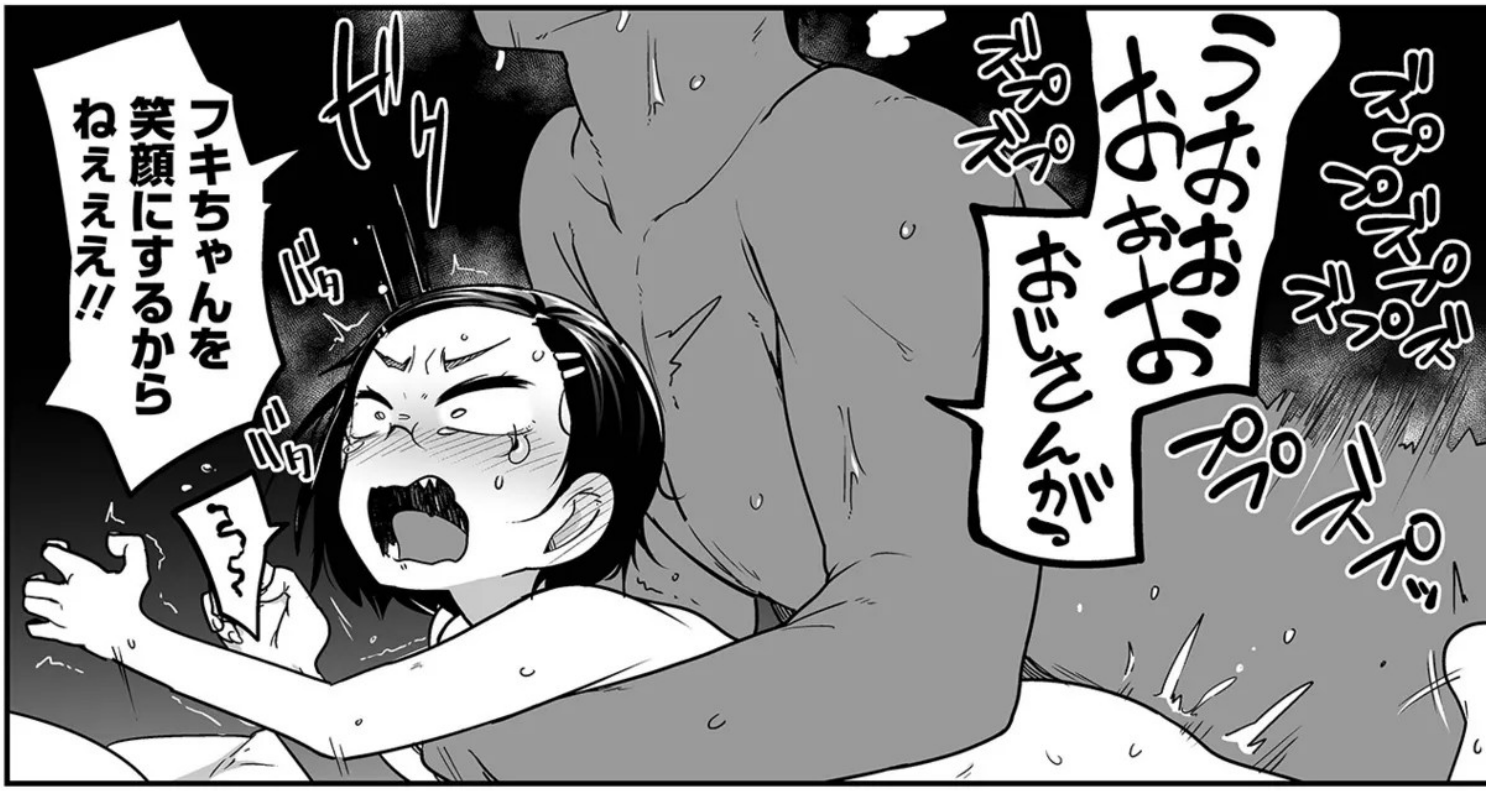

僕たちは
姉や両親が
いない時を狙って
大人の遊びをした
もうちょっと
突き出して
そうそう…
入れるよ
フー
フー
フー
やばっ
出し過ぎた…
時々は
姉のすぐ近くで
さあ…？
フキちゃんは？
フキちゃんから
求める時もあった


ハァハァ


ボボボ…
バカッ！
ちょっと
痛かった！
もう
おじさんと
遊ばないからな！
ふ フキちゃん
ごめん〜


おはよ
フキちゃん
おはよう
すぐ
朝ごはん
出来るからね
フキちゃん
おはよー
ムシ…
……
ムスッ
……
たまに
喧嘩をしても
すぐに仲直りを
した
ヴヴ
タッ!
うわっ!
何してんのアンタ!!
だっ
大丈夫
大丈夫!
トコトコ
チラッ
うおおお!
フキちゃん
大好きだよお!!
朝まで
遊んであげる
からねえ!!
ぐっ
ぐっ
ぐっ



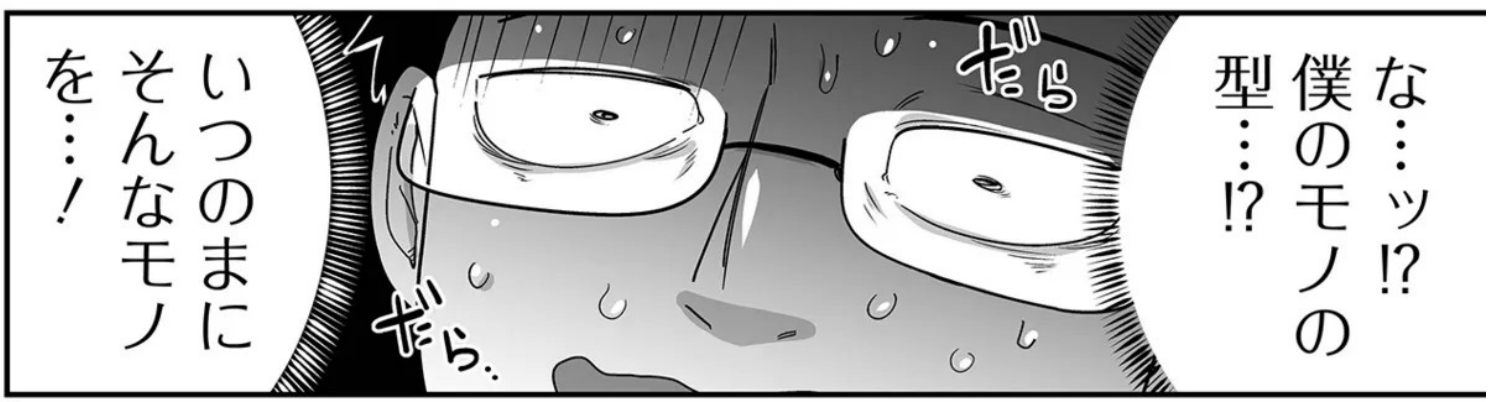

ズプズプズプズプ
うおおお


フキちゃん
どうしたの？
ギュ～
母親には
甘えられない
んっ…
キュ…
きっと
姉さんの辛い姿を
たくさん見て
来たんだろう
ビクッ…
フキちゃん？
だから僕に
気に入られようと
こんなに必死に
・・・・
ズプ
ハァ…
ギュ…
ハァ…
ギュ…
分かっていたんだ
フキちゃんが
僕のモノが
好きだなんて
ウソだって
僕のモノは
大して
大きくないのだ
ハァ…
ハァ…
ズププ…


!?
ズッ
フキちゃんの部屋に
こんなモノが
あったんだけど


ねぇ
ちょっと来てー

あぁ…
僕は最低な
人間だ…
ヨロ
ヨロ…
彼女の気持ちも
知らないで…


な…ッ!?
僕のモノの
型…!?
だら
だら…
いつのまに
そんなモノ
を…!


アンタねぇ…
実家だからって
何でもしていい
わけじゃないのよ
ドド
ドド…
えっ!?
いや…
違うんだ
コレは…
こんなモノ見つかって
あの子に
悪影響があったら
どうするつもりぃ?

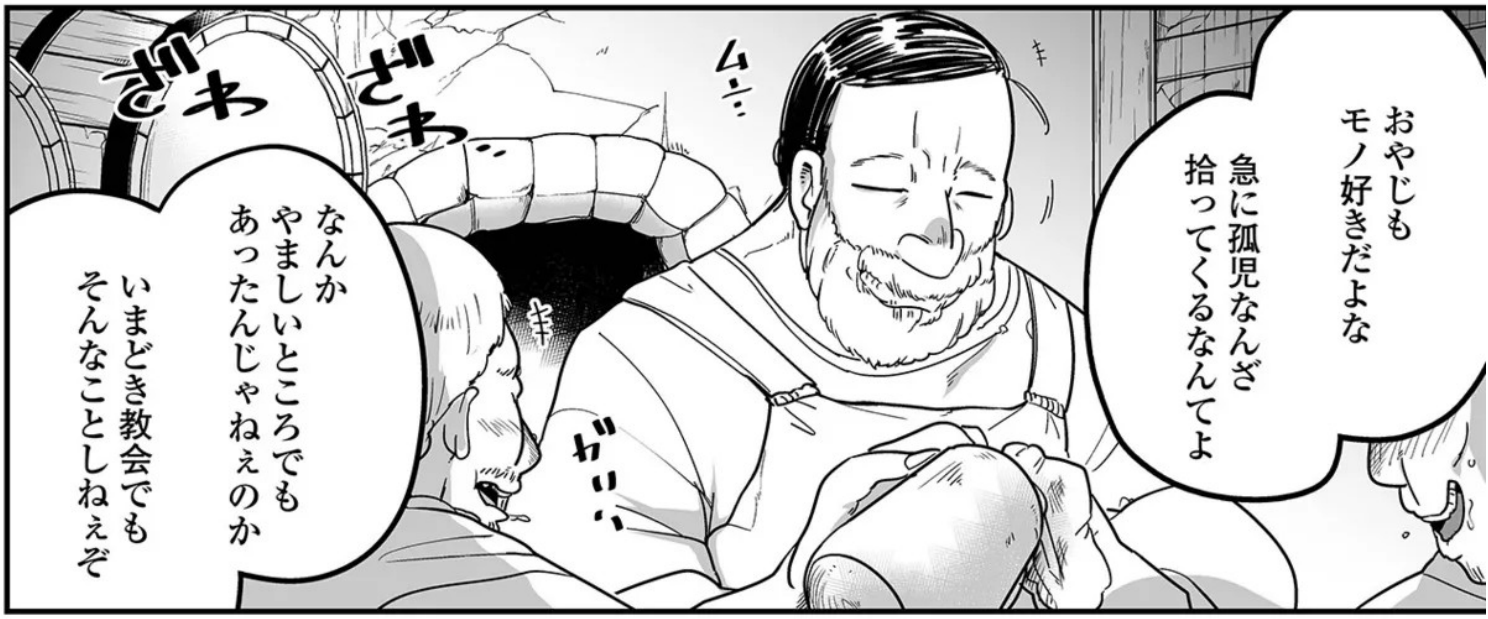

しゃ…
その
短小チンコ
握り潰してやる
姉さん
誤解なんだ…


キャァァ
ピッ
ピッ
フキちゃん
いつの日か
君を笑顔にするよ
マニス!

●END●


カチャ。
カチャ。。
ガヤガヤ
おやじぃ！
こっちにも
2杯くれ！
酒だ
酒え！
おい
シャーリー！
そこの
しょぼくれた農夫に
エール2杯だ！
シャーリー！
カチャ！
はいっ
おじさん！
しょぼくれ
農夫さんに
エール追加！
ひでぇ
言われよう
だな！
ケッ
言って
くれるぜ
シャーリーと
魔法の水薬
ポーション
にしても
シャーリーのやつ
ありゃ将来
いい女になるぞ
ばっか
色目使うな
店主に追い
出されるぞ
ムッ！


アイツが
初めて来た頃を
思い出すぜ
グビッ
何言ってんだ
つい最近じゃ
ねぇか
1年か2年。
孤児にしちゃ
ありゃ拾いもんだな
はーい！
気立てもいいし
器量もいい
ちょっと胸元が寂しいが


おやじも
モノ好きだよな
急に孤児なんざ
拾ってくるなんてよ
ムニ
ざわ
ざわ
ガリ
なんか
やましいところでも
あったんじゃねぇのか
いまどき教会でも
そんなことしねぇぞ


俺も
ガキでも拾って
来ようかな
ガハハ
ヒッ
やめとけ
病気になるか
金盗まれるのが
オチだ！


最近
町の方で
怪しい水薬（ポーション）が
出回ってってよ…


そういやよ
最近あぁいうガキ
やたらと見るんだわ
戦もねぇってのに
ざわ
…なぁ
こんな噂
知ってるか？
あん？
ざわ


シャーリー来い！
話がある
はーい
サッ
サッ
まぁ飲め
話は
それからだ
はいっ！
ゲプー
ガハハハッ！
いい飲みっぷりだ
酒場の娘らしく
なってきたな
私 コレ
好きです
ホカマッ
ん？
路上で
死にかけていた私に
おじさんがここで
飲ませてくれました
あの時の
温かい
エールは
なんだか
甘かったのを
覚えています
フン…
そんな事も
あったな
明日は使いを
頼みたい
飲んだら
さっさと寝ろ


わぁ
すごい
カーンカーン
ざわ
ざわ
ざわ
ざわ
おっと
見とれてる
場合じゃなかった
おつかい
おつかい…！
ざわ
ざわ


このメモに
書いてある場所に
届けてくれればいい
ざわざわ
あとは
好きにしろ
かわた…
えーと…
メモ メモ
ここを
みぎで…
ここ…？
お邪魔
します…
ドタタ…
よく来てくれました
ご主人様が
お待ちです…
ガチャ…
やぁ
よく来たね
待っていたよ
君が店主の
新しい娘さんか


あごッ
あああの
これっ！
おじさんから
頼まれていた
ものです！
ハハハ
そう緊張しないで
君の
ご主人とは
友人でね
ありがとう
検めさせて
もらうよ
…足りないな


え？
事前に
聞いてはいたが
荷馬車が
襲われたのは
本当の様だ
これでは
まるで足りない…
これの5倍は
届くはずだったんだ


この荷物に
いくら払った
思っている？
それとも
あの男が残りを
自分のモノにして
いるのか…
どちらだと
思うかい？
あっあの
私戻って
おじさんに
確かめて…
だから…


いや
その必要はないよ
ゾろ
ゾろ
え…
!!
!?
!
へへ…
え!?
ゲヘヘ…
ぐぐ…
いやっ
?
?
ひっ!…
本当のところは
私には分からないが…
あの男が
君を使わせたと
いう事は
そういう
事だからね


いやっ
嫌です!!
やめっ…!!
ガタ
ガタ
ガチャン!
おら!
抵抗するな!!
グへへ!
入れるぜ!!
ど
ズル!
あっ!
ビッ…
ビクッ!
ドクドク…
ひっくっ…
ビクッ!
ハー…
ガク
ハー…
!?
ガハハすげぇ!
丸々一本
飲んじまったぜ!
どうだ
美味いだろぉ?
ガクン
大人しく
させるには
コレが一番だな
ハー…
ガクガクン
ハー…
何だぁこいつ
痛がってる割に
生娘じゃねぇな?
ハー…
元孤児のガキだ
奇麗な体なわけ
ねぇさ


いやらぁ
助けて！
おじさん
助けてぇ！
おじさぁん!!
オラ
暴れんじゃ
ねぇよ!!
まだ
分から
ねぇのか？
お前は
おじさんに
売られたんだよ
へへへ…
それじゃぁ
いただきまぁす
ペチ
ペチ
いやっ！
ビクッ！
ビクッ！
安心しな！
俺達がたっぷり
かわいがって
やるからなぁ!!
ギャッ！
パン
パチュ！
パン
いやだぁ
あ


ゆるして下さい!
もうむり!!
ひぐっ


もっと奥まで入れるんだよ
ふぁい…
またぶん殴られてぇのか?
何チンタラやってんだよガキが!!
こんなんじゃ何時までたっても終わらねぇぞ
順番なんて待ってられるか!!


どうせおやじの慰み者にでもなってたんだろ!!
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
や
俺のも慰めてくれよ!!
!?
おらっ俺のを咥えろ!!!
そこどけ!! ケツに入れてやる!!
ズッ!
ズッ!
ズプ…
スラムのガキなんざどうなったっていいんだ!! めちゃくちゃにしてやろうぜ!!


ズン!!
俺が先だ!! 早く入れさせろ!!
次は俺だっ!!
ハッ
ハッ
ハハハハ!! 楽しくなってきたぞ!!

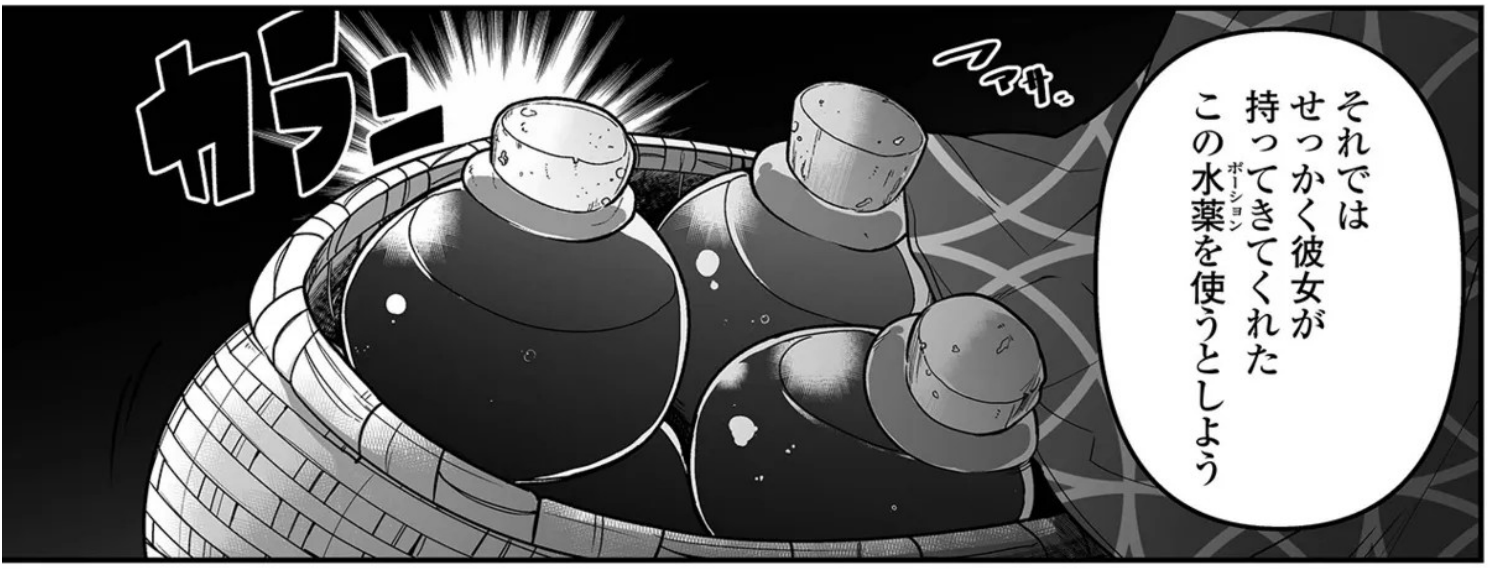

まだ
へばるんじゃ
ねぇぞ!!
おっおぉ
ゆるじでっ
まっそこっ
そこっ
まだまだ
これからだぞ
ぐっ
ぐっ!


もっと
奥まで咥えろ!!
チュ
チュ
チュ!


うっ
出すぞっ!!
ドプッ…
ビュッ…

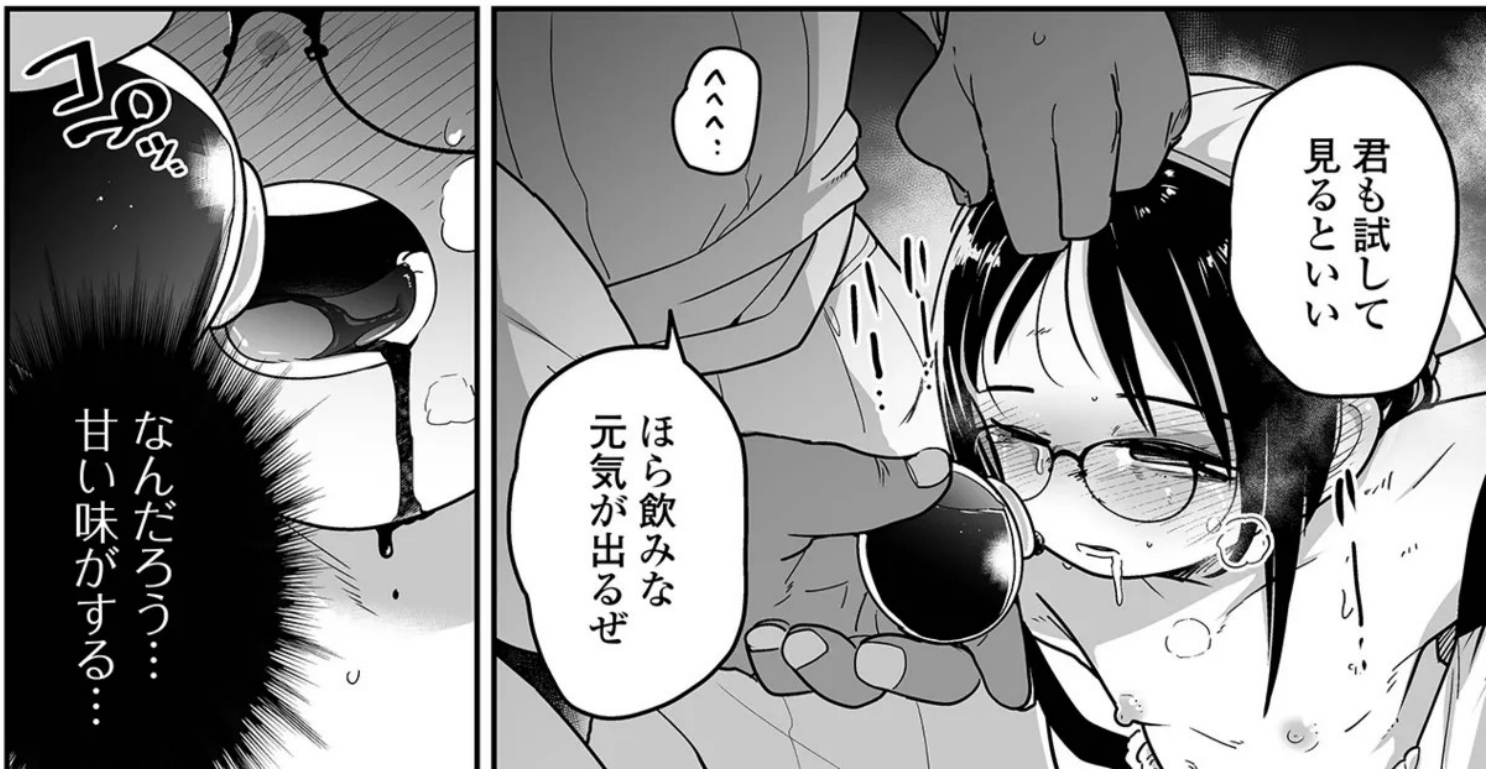

ハァ…
ハァ…
ハァ…
ゴポッ
おじさん…
おじさん助けて…


ギッ
アッアッ
ギッ
ギッ
ぅ…
旦那ぁ
まだ続けるん
ですかい？
これ以上
あの人数で
強姦(マワ)したら
あのガキ
死んじまいますぜ
ん？
そうだな
もう十分か


それでは
せっかく彼女が
持ってきてくれた
この水薬(ポーション)を使うとしよう
フィサ。
カラン


シャーリー…
だったかな？
乱暴に扱って
すまなかったね
突然の事で
混乱しているだろうが
聞いてくれ
簡単に言うと
私は君を
新薬の実験台に
使いたいと思っている
この
赤い水薬のね…
コポッ


この水薬は
傭兵の間で
使われていたものだ
戦場で傷を癒し
恐怖を薄れさせ
力が出る…
貴重な兵を
失わずに済むと
国が積極的に
兵達に飲ませて
いたんだ
だが
副作用もあった
チャポ…
感覚が鋭敏に
なり過ぎるのだ
この水薬は
傷ついた君を
癒し
意識を
覚醒させるだろう
何度もね
今 町では
この水薬の中毒者が
増えていてね
気分が良くなると
評判だよ

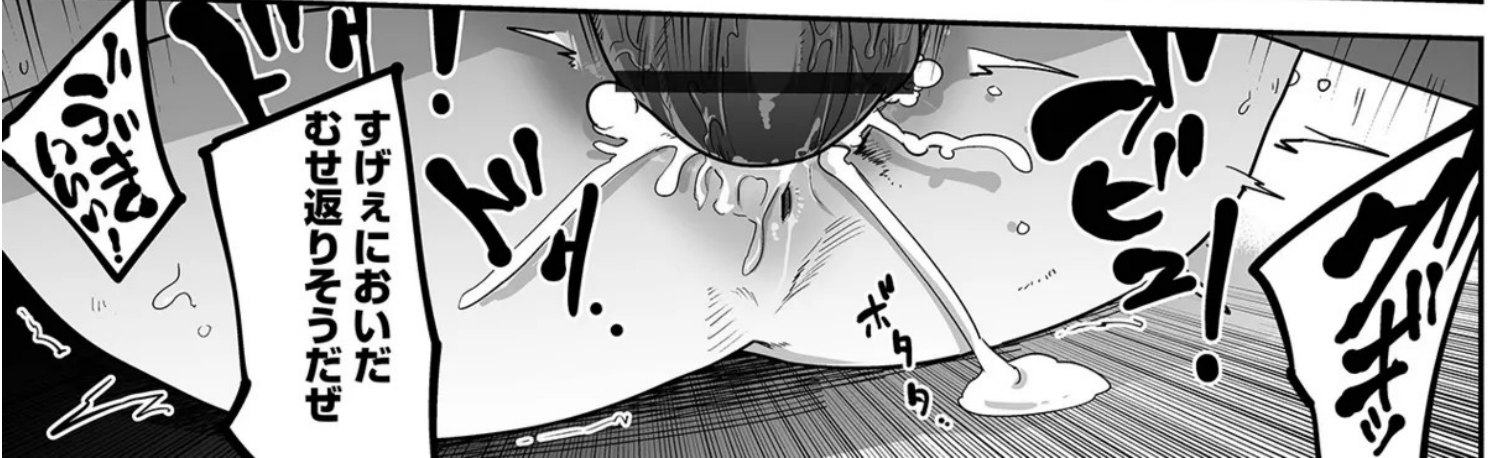

君も試して
見るといい
へへへ…
ほら飲みな
元気が出るぜ
コクッ
なんだろう…
甘い味がする…


よしいいぞ
ハッ
ハッ
飲むのもやっとだぜ
このまま死んじまうんじゃねぇのか？
あと一瓶飲ませてみろ
ハッ
こんな飴みたいなもんが本当に効くんですかい？
たかが水薬でしょう？
扱いに気をつけたまえ
くんくん
言っただろう新薬の実験だと
ドッドッ
ハッ
ドッドッドッ
ハッ
ハッ
これは特注品でね
効力も中毒性も
今までの3000倍だ


なんだろう
体が熱い……
光が…見える…
パチパチと目の前を
飛んでる…
あぁ…
押し寄せてくる
大きな波が…
気持ちいい……
気持チイイキモチイイ
キモチイイキモチイイ
キモイチイキモチイイ
キモチイイキモチイイ
ビクビク
ビクッ
ビクッ
ビチッ
ビチッ
ビチ


あーっ
きもちいい
そこもぞいい
ははは
コイツは面白い!!
何だこいつ
急に叫び出したぞ!!
死にかけのガキが
獣みたいに
暴れてやがる!!


すげぇな
こりゃ!!
早く俺にも
やらせろ!!
うっ
出そうだ!!
気絶したぞ
早く起こせ!!
もう一瓶
飲ませろ!!


すげぇにおいだ
むせ返りそうだぜ


もういらねぇから
いっ
もっのの
もういやだ
ダメ～
壊れやがれ!!
ははは!!
このガキ
狂っちまうぞ!!
なんて力で
締めつけやがる!!
クソッ
俺のモノを咥えて
放さねえぞ!?
おらっ
気持ちいいか!?
どうなんだよ!!
きもちいいっ!!
ぞくぞくする!!

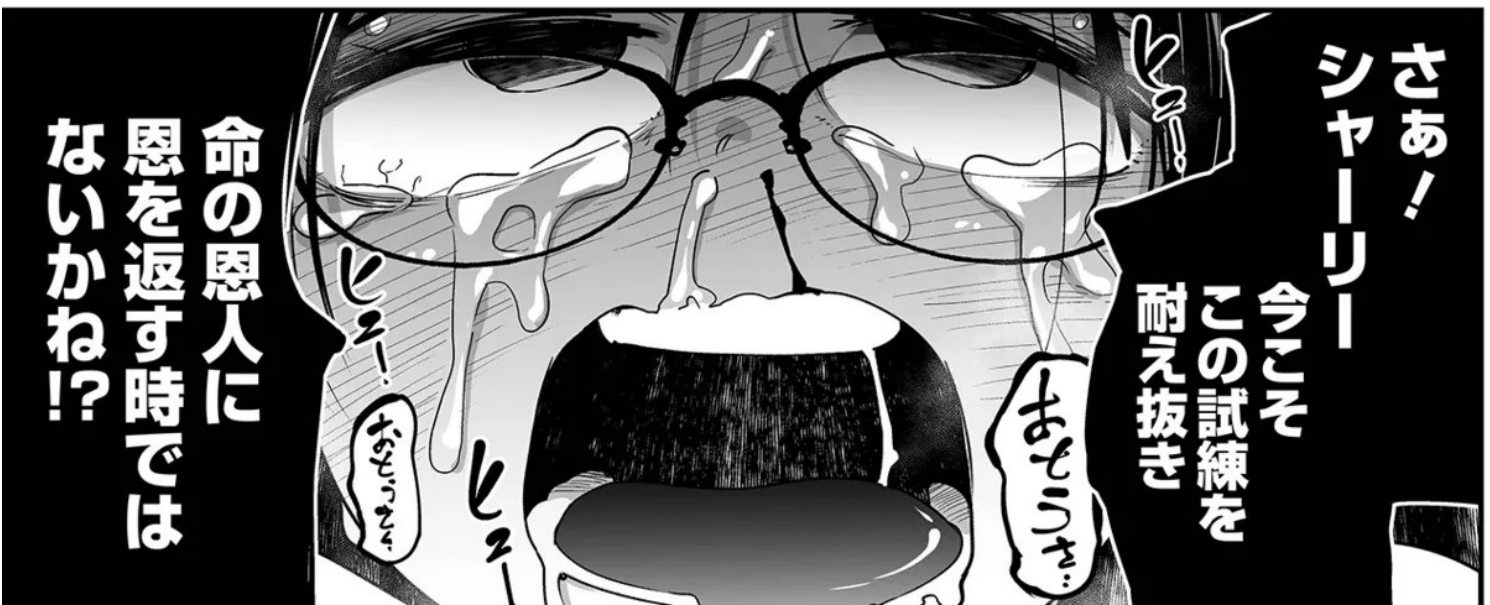

シャーリー
鋭敏になった聴覚で
よく聞いてくれ
あ…
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ


誰が彼を
責められよう？
ハヒッ
ヒッ
ヒィッ
ハアッ
フー…
フー…
本当の家族の
為なんだからね
ヒッ
アアッ

だが
一つ問題がある


君が実験台として
役に立たなかった
場合…
君のご主人に
莫大な借金を背負って
もらう事になる
もちろん
娘もただでは
済まないだろう
思うに
これは運命
なのだよ

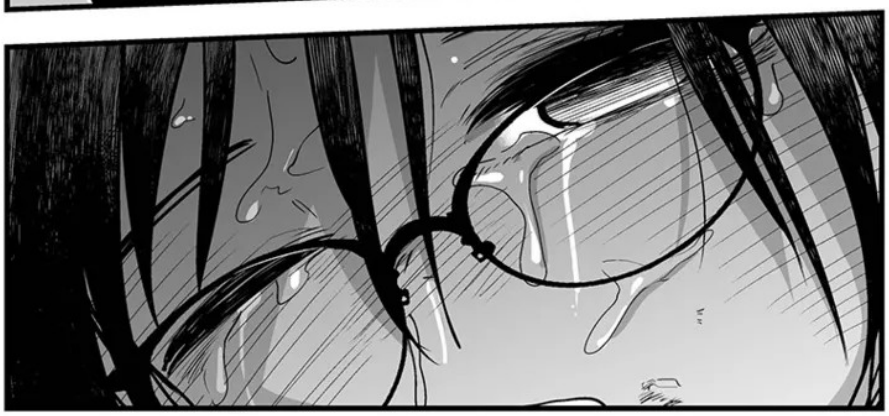

そう簡単に
くたばるんじゃ
ねえぞ!!
お前が
ぶっ壊れるまで
続けてやる!!
水薬は
まだ山ほどあるん
だからな!!
ア…
アア
ガッ
ガッ
ズッ
ズッ
パチュ!
パチュ!
パチュ
パチュ
パチュ
パチュ
ブチッ


さぁ!
シャーリー
今こそ
この試練を
耐え抜き
命の恩人に
恩を返す時では
ないかね!?
おそうさ
おそうさ
レロー
レロー



この娘には
耐性がある

拾われてから
数年の間
少しづつ薬に
慣らされていたからな






ザァ…
ザァ…
ザァ…
バシャ!
おやじ
何だこの汚ぇガキは
今にも死にそうじゃ
ねぇか
それは
水薬か?
そんな
高価なもの
どこで…
いいから
飲ませろ
ごくり…
ゴクゴクッ!
飲まないなら
捨てて来るぞ


あまい…
かわいそうに…
ありゃもう
手の施しようがないな
まだ
子供じゃないか
数カ月後…
幸せな夢でも
見てるんだろう
哀れなもんだ
中毒患者ってのは…
ざや
ボソ
コロコロ…
シャーリ…
早くしろ…
エール
林だ…
シャーリ…
シャーリ…
●END●